

於テハ形式的ニモ亦法律ニアラス
 併シナカラ國家ノ歳入歳出ノ見積書タル豫算ヲ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ムル
 ハ政治上重大ナル意味ノ存スル所タリ政府行政ノ働ヲシテ不規則ナラシメス
 一定ノ法律秩序ニ依ルモノタラシメンニハ之ニ要スル歳入及之ヲ使用スル種
 類方法ヲ他ノ機關ノ參與ヲ竣テ決スルト云フコトハ甚タ適切ナルコトナリ故
 ニ帝國憲法ハ立憲政體ノ主意ニ鑑ミテ國家ノ歳入歳出ノ豫算ハ帝國議會ノ協
 賛ヲ經ヘシト云ヘリ之ヲ明ニシテ以テ諸國ノ制度ト異ナル所ヲ示サントスル
 ニハ豫算ヲ以テ國會ノ協賛ヲ經ヘシトシタル沿革ニ付テ多少説明セサルヘカ
 ラス

歐洲人ノ間ニハ昔時ヨリ租稅ナル觀念ナシ義務トシテ臣民カ國家ノ費用ヲ負
 擔スルノ思想ハナカリキ君主ハ其私有地ヨリ生タル所得ヲ以テ一切ノ費用ヲ
 支辨シタリ唯人民ヨリ厚意上恩惠トシテ一定ノ貢物ヲ爲シタリ歐洲ニ行ハレ
 タル中世ノ封建制度ハ臣下タル者ハ主君ヨリ土地ヲ賃借シテ之ヲ完全ニ使用
 スル權利ヲ得其代リトシテ主君ノ爲ニ身命ヲ抛テ働クト云フコトニ在リ各

其土地ヨリ出ツル所得ヲ以テ公ノ費用ヲ支辨シタルナリ然ルニ國家益大ト爲
 リ國家ノ政務多端ト爲ルニ至リテハ之ヲ以テシテハ能ク公ノ費用ヲ充スコト
 ヲ得ス茲ニ於テ主君ハ臣下ニ對シテ一定ノ費用ヲ分擔センコトヲ請求スルニ
 至レリ併シナカラ之ヲ義務トシテ納ムルニハアラス自由意思ニ依リテ貴族寺
 院都市之ヲ君主ニ致シタリ故ニ君主カ其費用ヲ是等ノ者ヨリ得ントスルニ當
 リテハ固ヨリ是等ノ者ノ承諾ヲ得サルヘカラス從テ後ニハ或ハ租稅ノ義務ア
 リト云フ思想起レルモ常ニ貴族人民ノ代表者ノ同意承諾ヲ必要トセリ是レ豫
 算ヲ國會ノ議ニ付スル始ナリ而シテ英國ニ於テ最モ著シク發達セリ「マグナカ
 ルタ」ニ於テ凡ソ國王ハ貴族人民ノ代表者ノ承諾ナクシテ金錢ヲ取立ツルコト
 ヲ得スト云ヘリ併シナカラ英國ニ於テハ純粹ニ租稅收入ノ承諾ニシテ現時ノ
 如ク歳入歳出ノ協賛ニハアラスシテ支出ニハ全ク無關係ナリキ政府ハ承諾セ
 ラレタル金錢ヲ如何ナルコトニモ使用スルコトヲ得タリ然ルニ其ノミニテハ
 國會カ國王ヲ十分ニ監視スルニ足ラス漸ク承諾シタル歳入ニ付テ如何ナルコ
 トニ使用スルコトヲ得ルヤ一々其使途ヲ指定スルコト起リ此租稅承諾ヨリ變

遷シテ豫算ナルモノ起レリ併シナカラ其同意承諾ノ重點ハ常ニ歳入ノ承諾ニ在リタリ大陸ニ於テハ又固ヨリ初ハ歳入ニ對スル貴族階級ノ承諾ニシテ後ニ至リテ必要上漸次支出ヲモ承諾スルニ至レリ即チ斯ノ如キ支出ノ必要アルカ故ニ其財源ヲ承諾スルト云フナリ佛國歴代ノ憲法南獨逸諸國ノ憲法白耳義ノ憲法ノ如キハ皆此主意ニ依リテ租稅ハ毎年國會ノ同意ヲ經テ之ヲ定ムルモノト爲セリ

索漏士ノ憲法ハ之ニ異ナリ租稅ハ永久ノ法律ニ依リテ定マルモノトセリ而カモ豫算ハ國會ノ同意ヲ要スト云ヘリ茲ニ至リテ議會ノ權限ノ重點ハ支出ニ在ルコト、爲レリ收入ハ毎年之ヲ議決スルニ及ハス永續ノ法律ニ依リテ入り來ルモノナリ唯夫レ如何ニ之ヲ使用スルカハ國會ノ議決ヲ要ス我憲法ノ仕組モ之ト同一ニシテ議會ノ權限ノ重點ハ歳出ニ在リ

國家ノ歳入歳出ハ斯ノ如ク議會ノ議決ヲ竣テ定ムヘキモノトスルコトハ諸國同一ナルモ併シナカラ議會ノ豫算議定ノ權限ハ絶對的ニハアラス英國ニ於テモ所謂確定ノ資本トシテ定マルモノハ豫算ヲ以テ之ヲ動カスコトヲ得ス白

耳義ニ於テモ法律ニ定メラレタル支出ハ之ヲ拒ムコトヲ得スト云ヒ獨逸諸國ニ於テハ法律ニ於テ定マリ又ハ法律上國家ノ義務ニ屬スルモノハ議會ハ之ニ協賛ヲ與ヘサルヘカラスト云ヘリ即チ議會ノ自由ニ議決シ得ルモノハ法律ニ於テ定マラサル可動ノ收入支出ニ限ル斯ノ如キコトハ併シナカラ豫算ノ性質上當然ノコトナリ豫算ハ法則ヲ定ムルモノニアラス法律ヲ定ムルモノニアラス法律命令ニ違反スルコトヲ得サルナリ若シ豫算ヲ以テ形式的ノ法律ナリト爲シ又ハ議會ノ權限ハ國王ノ上ニ在リトスレハ或ハ疑ハシキ點モ之アランモ我憲法ノ組織ノ如クナレハ極メテ明瞭ニシテ固ヨリ法則ニアラサル豫算ヲ以テ法則タル法律命令ヲ變更スルコトヲ得ス之ニ違反スルコトヲ得サルナリ詳説スレハ法律命令ニ於テ目的ノ定マルル支出ハ議會之ヲ削除スルコトヲ得ス唯其金額ヲ増減スルコトヲ得ルノミナリ法律命令ニ於テ金額モ定マリタルモノニ對シテハ削除スルコトヲ得サルノミナラス増減ヲモ爲スコトヲ得ス金額定マラサル場合ト雖モ之ヲ削減シテ實際其政務ヲ行フコトヲ得サラシムル程度ニ至ルコトヲ得ス議會ノ自由ニ議決スルコトヲ得ルハ法律命令ニ目的金額

共ニ定マラサルモノナルカ又ハ金額ノ定マラサルモノニ付テ之ヲ増減スルコトヲ得ルノミナリ

以上ハ豫算ノ議定權ノ性質上ノ制限ナリ此外憲法ハ尙ホ數多ノ制限ヲ定メタリ

豫算ヲ以テ法律命令ノ規定ニ違反スルコトヲ得サル原則ノ外ニ憲法ハ特ニ議會ノ豫算議定權ヲ制限スルモノアリ是等ノ憲法上ノ制限ハ或ハ必スシモ豫算ノ性質上ノ當然ノ制限ニハアラス憲法ヲ以テ特ニ設ケタル制限ナリ斯ノ如キ制限ハ

一 皇室費ナリ 皇室經費ハ現在ノ定額ニ依リ毎年國庫ヨリ之ヲ支出シ將來増額ヲ要スル場合ヲ除ク外帝國議會ノ協贊ヲ要セスト定メタリ皇室經費モ亦國家ノ公ノ支出タルコトハ言フマテモナシ又或ハ外國ニ於ケルカ如ク人民ヨリ皇室ニ若干ノ金額ヲ獻上スルト云フカ如キ意味アルコトナシ併シナカラ憲法ハ皇室經費ヲ以テ一定ノ期間不動ノモノトシ帝國議會ノ當然ナル豫算議定權ノ範圍ノ外ニ置ケリ

二 繼續費 特別ノ必要アルトキハ政府ハ豫メ年限ヲ定メテ繼續費トシテ帝國議會ノ協贊ヲ求ムルコトヲ得帝國議會カ一タヒ數年ニ涉リテ繼續費トシテ議決ヲ爲シタルトキハ帝國議會ハ次ノ年度ニ於テ豫算ヨリ之ヲ削除スルコトヲ得ス此意味ニ於テ繼續費ハ豫算議定權ニ對スル一ノ制限ナリ

三 豫備費 豫算ニハ必ス豫備費ヲ置カサルヘカラス豫備費ハ將來ニ於テ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フカ爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニスルモノニシテ帝國議會ハ之ヲ削除スルコトヲ得ス

四 豫算議定權ニ對スル最後ノ制限ハ憲法第六十七條ナリ 憲法上ノ大權ニ基ケル既定ノ歳出及法律ノ結果ニ依リ又ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出ハ政府ノ同意ナクシテ帝國議會ハ之ヲ廢除削減スルコトヲ得ス故ニ議會ノ豫算議定權ノ制限ヲ爲スモノハ三アリ(一)ハ憲法上ノ大權ニ基ケル歳出ナリ(二)ハ法律ノ結果ニ依リ政府ノ義務ニ屬スル歳出ナリ(三)ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出ナリ

憲法上ノ大權ニ基クトハ憲法上天皇ノ親裁ノ政務ナルコトヲ必要トシタル

事項ニ付テ天皇ノ大權ニ依リテ定メタル歳出ヲ謂フ例ハ條約ヲ以テ定メタル歳出、陸海軍ノ編制、常備兵額ニ依リテ定ル歳出ノ如キモノ是ナリ大權ト云フカ統治權ト云フノ意味ニアラサルコトハ固ヨリ言フ餘タス如何ナル歳出ト雖モ統治權ニ基カサルモノハ之ナシ特ニ之ヲ憲法上ノ大權ト云ヒテ範圍ヲ定ムルニ及ハサルカ故ナリ立法ノ主旨ヲ按スルニ若シモ天皇カ外國ト條約ヲ締結シテ一定ノ金額ヲ拂渡スヘキコトヲ約束シ常備兵額ヲ増加シテ之ニ必要ナル費用ヲ要求シタルカ如キ場合ニ於テ若シモ議會カ自由ニ之ヲ廢除シ、削減スルコトヲ得ルトキハ大權ノ獨立ナル所以即チ條約ノ締結、常備兵額ヲ定ムルコトヲ以テ天皇獨裁ノ政務ト爲シ議會ノ干涉ノ外ニ置キタル所以ハ達スルコトヲ得サルナリ費用ヲ削除スレハ固ヨリ其事ヲ行フコトヲ得ス大權ノ獨立ナルモノハ有レトモ無キカ如クナルヘシ故ニ憲法上ノ大權ニ依リテ豫算議定ノ時期ニ於テ既ニ定マレル費用ニ付テハ議會ハ之ヲ廢除スルコトヲ得ス其金額モ亦定マレルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得ス金額カ定マラサル場合ト雖モ金額ヲ削減シテ實際其事ヲ行フコトヲ得サル程度ニ至

ルコトヲ得ス故ニ既定ト云フハ豫算議定ノ時ニ既ニ定マルト云フ單純ナル意味ナリ素ヨリ憲法制定ノ當時既ニ定マルト云フ意味ニハアラス憲法制定ノ後ト雖モ憲法上ノ大權ヲ以テ定メラレタル以上ハ議會ハ之ヲ廢除削減スルコトヲ得スプロシヤノ憲法ニハ斯ノ如キ條文ナシ故ニプロシヤ政府ハ官制ヲ定メ殊ニ常備兵額ヲ増加スル場合ニ於テ其費用ヲ議會ニ於テ時々廢除削減セラレ非常ナル困難ヲ見タリライバント稱スル大學者カ如何ニカシテ議會ノ此權限ヲ制限セント考案シテ議會カ一度發表シタル所ハ議會ハ永久ニ之ニ束縛セラレサルヘカラス一度同意シタル費用ハ後ニ至リテ議會カ之ヲ廢除削減スルコトヲ得ス前年度ノ豫算ニ掲ケタル歳出ハ議會カ之ヲ翻テ廢除削減スルコトヲ得スト論シタリ此說ヲ採リテ憲法第六十七條ノ既定ノ意味ハ前年度ノ豫算ニ定マレルモノナリト云フ意味ナリト云フ者アリ併シナカラ豫算ハ固ヨリ一年限リ效力ヲ有スルモノナリ前年度ノ豫算ニ掲ケルモノト雖モ之ヲ以テ今年度ノ豫算ニ對シ既定ナリト云フコトヲ得ス法律ノ結果ニ依ル歳出トハ例ハ恩給法ニ依ル恩給ノ如キモノナリ法律上政

府ノ義務ニ屬スル歳出トハ國家カ軍艦ヲ買入ルレハ代價ヲ支拂フヘキ民法上ノ義務ヲ生スルカ如キモノヲ謂フ是等ノ歳出費用ハ議會カ廢除削減スルコトヲ得ス若シモ之ヲ廢除削減セント欲セハ豫メ政府ノ同意ヲ要ス條約ニ依リテ定マリタル歳出ト雖モ或ハ當分延期スルコトヲ得ルモノアラン軍艦ノ代價ヲ本年ニ至リテ支拂フヘキ場合モアラン政府カ行政ノ實際ノ關係ヨリ打算シテ同意ヲ與フレハ議會ハ之ヲ廢除削減スト雖モ必スシモ大ニ妨ケナキモノト見サルヘカラス故ニ憲法ハ政府ノ同意アレハ議會カ之ヲ廢除削減スルコトヲ得ト云ヘリ或ハ本條ハ豫算ヲ以テ法令ニ違反スルコトヲ得サル當然ノ性質上ノ原則ヲ言表ハシタルモノニ過キスト云ヘル人アリ併シナカラ豫算ヲ以テ法律命令ニ違反スルコトヲ得サルハ豫算カ法則ニアラサル性質ニ存スルモノニシテ縱令政府カ同意スト雖モ豫算ヲ變シテ法則ト爲シ豫算ヲ以テ法令ニ違反スルコトヲ得ス政府ノ同意ヲ以テ廢除削減スルコトヲ得サルモノハ性質上議會ノ權限ニ屬スル範圍ニ屬セサルヘカラス此範圍内ニ屬スト雖モ特別ノ理由ニ依リテ之ヲ特ニ廢除削減スルコトヲ得スト定

ム議會カ政府ノ同意ヲ得スシテ是等ノ費用ヲ廢除削減シタル場合ニ於テハ議決ノ要件ヲ缺クモノニシテ議決トシテ效力ナシ議會ハ議決ヲ爲ス前ニ政府ノ同意ヲ得サルヘカラス

豫算カ成立セサルトキハ其結果如何或ハ斯ル場合ニ於テハ政府ハ收入支出スルコトヲ得スト云フ者アリ併シナカラ國家公共ノ政務ハ一日ト雖モ之ヲ廢スルコトヲ得ス豫算ナキカ故ニ國家ノ生命ヲ斷絶スルコトヲ得ス唯收入支出ノ見積書ナキノミニシテ政府ハ收入支出シ得ヘキコトハ言フマテモナシ併シナカラ憲法ハ斯ノ如キ場合ニ見積ナクシテ收入支出スルコトヲ好マシカラザルコト、シテ斯ノ如キ場合ニ於テハ前年度ノ豫算ヲ施行スヘキモノト定メタリ是レ一ニハ議會ノ專横ヲ防クノ主意ヲ有ス本條ナクシテハ議會ハ豫算ヲ全部議定セスシテ不成立ニ至ラシメ政府ヲシテ困難ナル地位ニ居ラシムルコトヲ得之ヲ防クカ爲ニ憲法上前年度ノ豫算ヲ以テ斯ル場合ニハ今年度ノ豫算ト爲スコトヲ定メタリ

豫算ハ前ニ衆議院ニ提出スヘシ凡ソ法律案ハ前ニ貴族院ニ提出スルモ衆議院

ニ提出スルモ政府ノ自由ナリ併シナカラ憲法ハ諸國ノ制ニ倣ヒテ豫算案ニ限
 リ之ヲ前ニ衆議院ニ提出スヘキモノト定ム併シナカラ我憲法ニ於テハ前ニ衆
 議院ニ提出スルコトヲ要スルハ豫算ニ限ルモノニシテ一切ノ財政ニ關スル法
 律案ヲ含ムモノニハアラス又憲法ハ單ニ提出ノ前後ヲ定ムルノミニシテ豫算
 ヲ決定スルノ權限其モノニ付テ兩院ノ間ニ差等ヲ設クルモノニハアサルナ
 リ英國ニ於ケルカ如ク貴族院ハ豫算ヲ修正議決スルノ權限ナシト云フカ如キ
 ハ我憲法ノ規定スル所ニハアサルナリ貴族院モ亦衆議院ト同シク豫算ヲ修
 正スルコトヲ得併シナカラ是レ法律上ノ關係ヲ云フノミニシテ實際ニ於テハ
 豫算ヲ前ニ衆議院ニ提出スルハ貴族院ノ豫算修正權ヲ著シク制限スル結果ヲ
 生スルモノニシテ政治上重大ナル意味ノ存スル所ナリ即チ先ニ議シタル衆議
 院ノ議決カ重セラレ貴族院ハ又準備ノ期間ヲ有セサルニ在リ實際修正ヲ加フ
 ルコト少ナシ

豫算議定權ヲ補充シ其主旨ヲ全ウスルカ爲ニ憲法ハ次ノ如キ數事項ヲ定ム
 豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ

承諾ヲ求ムルコトヲ要ス豫算ハ固ヨリ見積ナルカ故ニ實際ノ支出ハ必スシモ
 之ト同一ナルコトヲ得ス豫算ノ爲ニ必要ヲ忽ニスルコトヲ得ス政府ハ必要ニ
 應シテ豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ支出ヲ爲スコトヲ得ルモ斯ノ如キ
 場合ニハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス之ヲ以テ帝國議會ノ承諾ヲ
 要スルモノト爲セルハ國家ノ歲入歳出ヲ以テ豫算トシテ帝國議會ノ協贊ヲ經
 ヘキモノト定メタル主意ヲ全ウスルカ爲ニ外ナラス議會ハ其支出カ不當ナリ
 シヤ否ヤノ意見ニ依リテ承諾ト否トヲ決スルモノトス承諾アレハ其支出ハ始
 ヲリ豫算表ニ掲ケラレタルモノト同一ナリシカ如ク看做サル不承諾ハ既往ニ
 遡リテ支出ヲ取消スモノニハアラス將來ニ向テ之ヲ無効ト爲スヘキモノニモ
 アラス
 國家ハ收入ノ不足ナルトキ又ハ臨時ノ事業ヲ起ストキハ國債ヲ起スナリ國家
 ハ固ヨリ絶ヘス債務ヲ負ヘルモノナルモ國債ト云フトキハ臨時ニ收入ヲ得ル
 カ爲ニ金銭ヲ借入ル、コトヲ云フナリ國債ヲ起スハ帝國議會ノ協贊ヲ經サル
 ヘカラス豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ヲ爲スニモ

亦帝國議會ノ協賛ヲ經サルヘカラス
 公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ必要アル場合ニ於テ而シテ内外ノ形勢ニ依
 リテ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサル事情アルトキハ政府ハ之ニ對シテ豫算
 ニ拘ラス財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得例ハ戰爭ニ當リテ國家ハ臨時急迫
 ノ費用ヲ要スルモ通常ノ收入之ニ足ラサルトキハ或ハ租稅ヲ増徴シ又ハ國債
 シ起シテ此急ニ應スルコトヲ得租稅ヲ増徴スルハ憲法第八條ノ緊急勅令ニ依
 ルナラント思考ス此場合ニ於テハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其承諾ヲ
 求ムルコトヲ要ス

國務大臣

第二章 國務大臣

國務大臣ハ天皇ヲ輔弼スル憲法上ノ機關ナリ天皇ヲ輔弼スルトハ天皇ノ統治權
 ヲ行使セラル、エ當リテ之ニ付テ意見ヲ上申シ參考ニ供シ其採擇ヲ請フト云フ
 コトナリ輔弼ハ天皇ノ行爲ニ同意スルモノニハアラス統治權ノ行使ハ天皇ト大
 臣トノ共同合意ノ行爲ニハアラス天皇ノ統治權ヲ行使セラル、ヲ内部ニ在リテ
 贊參スルコトカ輔弼ナリ外ヨリ見レハ輔弼ハ有ルモ無キモ同一ナリ均シク天皇

ノ統治權ノ行爲ナリ天皇單獨ノ行爲ナリ故ニ輔弼ハ立法權ノ行使ニ對スル議會
 ノ協賛ト異ナル協賛ハ天皇カ其立法權ヲ行フノ要件ナリ輔弼ハ事實上ノ意見ノ
 上申ニ止マル統治權ヲ行使セラル、ノ要件ニアラス輔弼ハ固ヨリ協賛ノ如ク外
 部ニ表ハレタル形式ヲ具フルモノニハアラス大臣ノ天皇ヲ輔弼スルハ如何ナル
 形式ニモ依ルモノニシテ意見ノ上申ト云フト雖モ或特定ノ事項ニ付キテ特ニ可
 否ノ意見ヲ奉ルコトノミヲ協賛ト云フニハアラス大臣ハ絶ヘス輔弼ス一定ノ場
 合ニ意見ヲ奉ラサルヲ以テ輔弼ヲ爲スヘキ場合アラン常ニ大體ニ付テ意見ヲ述
 フルモ又輔弼ナリ輔弼ハ又天皇ノ意見ヲ可トスルヲ可トスルニ止マルモノニモ
 アラス大臣ト天皇ト意見合シテ輔弼アリタル統治權ノ働アリタルモノト爲スヘ
 キモノニハアラス天皇ノ行ハントスル所ヲ爭ヒ止メントシテ其ニモ拘ラス天皇
 カ實行スルモ其大臣ハ輔弼シタルモノナリ
 國務大臣ハ憲法上ノ機關ナリ憲法上ノ機關タル國務大臣ハ官制ニ依ル各行政部
 ノ長官トハ異ナル現行ノ制度ニ於テハ國務大臣ハ通常同時ニ行政大臣ナルモ行
 政大臣トシテ一定ノ事務ノ分配ニ與カルト云フコトカ國務大臣タルノ要件ニハ

アラス憲法上ノ機關タル國務大臣ハ何等ノ義務ノ管掌ナキ一艦ノ國務ニ關スル機關ナリ其故ニ國務大臣ハ如何ナル事ニ付テモ意見ヲ上申スルコトヲ得文部大臣モ陸軍大臣モ又若シ之アラハ事務ノナキ大臣モ同一ナリ文部大臣タル人カ條約ヲ締結スルコトニ付テ意見ヲ申上クルコトハ外務大臣タル人トモ陸軍大臣タル人トモ同一ナリ國務大臣トシテハ數人ノ大臣皆同一ナリ恰モ國會議員カ總テノ國務ニ關スル國會議員タルト同一ナリ事務ヲ分掌スル行政大臣ト區別セサルヘカラス國務大臣ハ數人之ヲ置クコトヲ得併シナカラ數人ノ國務大臣ハ一團トシテ合議體トシテ輔弼ノ職務ヲ行フモノニハアラスシテ各大臣別箇ニ天皇ヲ輔弼スルナリ何レノ大臣モ國務大臣トシテハ輔弼ノ全權アルモノナリ多數決ニ依リテ大臣合議ノ意見ヲ決スル議決權ヲ有スルモノ、ミニハアラス又各大臣ノ間ニ上下ノ關係アリテ總理大臣カ各大臣ヲ指揮命令シ總理大臣カ各大臣ヲ代表シテ天皇ヲ輔弼スト云フヘキモノニアラス各大臣ハ直接ニ皆同等ニ意見ヲ奉ルコトヲ得ルナリ從テ其意見ノ各同一ナルコトヲ必要トセス多數決ニ依リテ意見ヲ合シテ之ヲ上申スルモノニハアラスシテ甲大臣之ヲ是ナリトシ乙大臣之ヲ非ナ

リトシテ君主ノ前ニ交爭フコトカ國務大臣ヲ罷キテ之ヲ輔弼ノ機關トセラレタル精神ナラント思考ス

斯ノ如キ國務大臣カ各別箇ニ一團ヲ爲サスシテ君主ヲ輔弼スト云フコトハ彼ノ議院政治ヲ行フ所ニ於テハ極テ不便ナルコトナリ大臣カ國會ノ多數ニ依リ一進一退スル仕組ノ國ニ於テハ各大臣ハ一團トシテ同一ノ意見ヲ有シ共ニ進退スルモノナラサルヘカラス所謂內閣制度ハ議院政治ヲ完全ニ行フノ要件ナリ我國ニ於テハ固ヨリ議院政治ヲ容レス國務大臣ヲシテ天皇ヲ輔弼セシム而シテ輔弼ノ全カラシコトヲ期ス

輔弼ハ國務大臣ノ職務ナリ凡ソ一定ノ職務アル者ハ之ニ全力ヲ竭シテ行ハサルヘカラス輔弼ノ大臣ヲ罷カレタルノ主意ハ大臣カ若シモ其職務ヲ怠レハ違スルコトヲ得ス大臣ハ總テ官吏ノ如ク其職務ヲ怠ラス其職務ヲ行フニ職務ノ命スル主旨ニ違フコトヲ得ス之ヲ怠リ之ヲ行フニ誤アレハ職務ノ違反ナリ職務ヲ怠レハ其責ニ任セサルヘカラスナルコトハ凡テ職務アル者ノ常ナリ或事項ニ付テ責アリト云フハ其事カ其者ノ職務ナリト云フカ如ク之ニ違反スルコトヲ得ス又之ヲ

竭サルヘカラスト云フナリ職務アル者ノ之ヲ竭サルヘカラストハ言フ
 埃タサル所ナリ併シナカラ憲法ハ輔弼ノ事柄重大ナルカ故ニ特ニ之ヲ明ニシテ
 國務大臣ハ天皇ヲ輔弼シ其責ニ任スルコトヲ規定セリ
 國務大臣ヲ憲法上置クコトハ立憲政體ノ一要義ニシテ之ヲシテ天皇ヲ輔弼セシ
 ムルハ自ラ統治權ノ行使ノ則ヲ超エサランコトヲ希望スルナリ併シナカラ輔弼
 ハ議會ノ協賛ト異ナリテ形式的ニ天皇カ統治ヲ爲スノ要件トハ定メス從テ事實
 上大臣之ヲ知ラサルニ天皇之ヲ專決セラルト云フコトアリ得ルナラン憲法上
 ノ機關トシテ輔弼ノ大臣ヲ置カレタル主意ヲ達セントスレハ大臣ヲシテ常ニ輔
 弼ノ機會ヲ失ハス大臣之ヲ知ラサルニ既ニ天皇ノ行爲アリタルカ如キコトヲ防
 カサルヘカラスト大臣ニシテ輔弼ノ機會ヲ失ハサラシムルカ爲ニ總テ法律勅令其
 他國務ニ關スル詔勅ハ國務大臣ノ副署ヲ要スト云ヘリ副署トハ天皇カ御名ヲ書
 セラレタルニ添ヘテ大臣カ名ヲ書スルコトヲ謂フ副署ハ法律勅令其他國務ニ係ル詔勅ハ形式ノ缺
 關スル詔勅ノ公式ナリ此式アラサレハ法律勅令其他國務ニ係ル詔勅ハ形式ノ缺
 ケタルモノナリ憲法ハ之ヲ公式ノ要件ト定メタルモノナルカ其制度アルノ結果

ハ大臣ヲシテ自ラ輔弼ヲ爲スノ機會ヲ失ハサラシムルコト、爲ル副署ハ固ヨリ
 大臣ノ職務ナリ天皇之ヲ命スレハ大臣ハ名ヲ書セサルヘカラスト併シナカラ副署
 ナケレハ法律命令其他ノ詔勅アルコトヲ得サルカ故ニ一大臣モ之ヲ知ラスト云
 フ場合ハ如何ニスルモアリ得サルコトナリ副署ノ制度ヲ設ケラレタル憲法ノ精
 神ヲ味ハサルヘカラスト併シナカラ是レ唯實際上政治上ノ關係ヲ云フモノニシテ
 憲法ノ直接ニ規定スル法律上ノ意味ハ唯大臣ノ名ヲ書スルコトヲ以テ法律勅令
 其他ノ詔勅ノ公式的の要件トセラレタルニ過キス故ニ或ハ副署ノ政治上ノ主意ヲ
 擴張シテ直ニ之ヲ法律上ノ意味ナリトシ副署ヲ以テ輔弼ヲ證明スル形式ナリト
 云フカ如クニ考フルコトヲ得ス本來輔弼ハ之ヲ證明スルコトヲ得ルモノニアラ
 ス具體的の特定ノ場合ニ可否ノ意見ヲ述ヘストモ輔弼アリ輔弼ハ一々之ヲ證明ス
 ルニ及ハス大臣タル者ハ常ニ絶ヘス輔弼スルナリ副署ヲ以テ輔弼ヲ證明スル形
 式ナリト云フ者ハ輔弼ハ天皇ノ行爲ノ憲法上ノ要件ニシテ之ヲ缺ケハ天皇ノ命
 令ハ不完全ナリ從テ其證明タル副署ナクシテハ法律勅令其他ノ詔勅ハ之アルコト
 ヲ得サルナリト云フコトナリ併シナカラ輔弼ハ天皇ノ行爲ノ憲法上ノ要件ニハ

アラス輔弼ナキモ天皇ハ行動スルコトヲ得唯斯ノ如キ場合ノ存スルコトヲ面白カラストスルカ故ニ副署ノ制度ヲ設ケテ輔弼ノ機會ヲ失ハサラシメントスルナリ副署ハ輔弼ヲ證明スヘキモノニシテ之ナケレハ天皇ハ行動スルコトヲ得スト云ヒテ天皇ハ大臣ノ承諾許可ヲ以テ行動スルト云フカ如ク考フルコトヲ得ス又副署ヲ以テ輔弼ヲ證明スルモノナリト云フハ大臣ハ輔弼ノ責ニ任スル者ナリ副署ヲ缺ケハ輔弼ナキカ故ニ其大臣ハ責任ナシト云フカ如キ不都合ナル論結ヲ爲サ、ルヘカラサルコト、爲ル實際副署セザリシ大臣アリタルトキハ斯ル大臣コソ責任ヲ負フヘキモノナラン或ハ甲ノ大臣意見ヲ奉リ乙ノ大臣カ命ニ依テ副署シタル場合ニ甲大臣ハ無責任ナリト爲スモノナランカ職務アル者ノ責任ヲ定メアル憲法ノ規定ヲ甚シク薄弱ナラシムルノ論決ト云ハサルヘカラス憲法ハ少シモ副署ト輔弼トノ必然的ノ關係ヲ定メス副署ハ命ニ依リテ其名ヲ署シ法律勅令其他ノ詔勅ヲシテ形式上完全ナラシムルナリ輔弼ハ副署スルト否トニ拘ラス之ヲ爲サ、ルヘカラス副署ヲ命セラレタルトキ始テ輔弼アルモノニアラス職務ニ忠實ナル大臣ハ如何ナル場合ニモ輔弼ヲ怠ラス憲法ノ形式上副署ト輔弼ハ無關

係ナリ其政治上事實上ノ勳ハ如何アルトモ副署ハ唯公文ノ式ニ止マル副署ヲ以テ輔弼ヲ證明スルモノナリト爲シ副署ニ依リテ輔弼ノ責任ヲ負フトスル者ハ自然ニ大臣ハ副署ヲ拒ムコトヲ得ト云ハサルヘカラルニ至ル併シナカラ若モ大臣カ副署ヲ拒ムコトヲ得ルナラハ天皇ノ命ニ抗スルナリ副署ナケレハ法律勅令其他ノ詔勅ハ異式ナリ天皇ハ之ヲ發スルコトヲ得ス大臣之ヲ拒ムコトヲ得ルトキハ天皇ハ統治權ヲ總攬スト云フモ空名ナリ大臣ノ意思ノ束縛ヲ受ケテ其言フカ儘ニナサ、ルヘカラサルコト、爲ル副署ハ國務大臣ノ一ノ事務ナリ其職務ヲ有スル者ハ命セラレタル事務ヲ拒ムコトヲ得サルハ當然ノ事ナリ若シモ大臣ハ到底副署スルコトヲ欲セサルナラハ其地位ニ在ル間ハ之ヲ拒ムコトヲ得サルカ故ニ官ヲ免セラレンコトヲ請フノ外ナシ官ヲ免セラレンコトヲ請フテ而カモ許サレサレハ大臣ハ命ノ儘ニ副署スルノ外ナシ副署ヲ拒ム、權能ハ大臣ニハ之アラサルナリ

國務大臣ニ付テ憲法ノ規定ノ説明ハ前ニ説述シタル所ニ依リテ盡セリ併シナカラ國務大臣ノ責任ニ付テ佛國憲法ノ當初ニ於ケル及ヒ之ヲ傳ヘタル學說立法ノ

影響ニ依リテ我憲法ノ規定ヲ解釋セントスル者アルカ故ニ大臣ノ責任ニ付テニ
 三ノ誤解ヲ匡サント欲ス
 先ツ責任ノ原因ニ付テ君主國ニ於テハ君主ハ不可侵無責任ナルカ故ニ之ニ代リ
 テ政治上憲法上責ニ任スル者ナカルヘカラス大臣ハ君主ノ行爲ニ付テ責ニ任ス
 ル者ナリト云フ思想アリ併シナカラ責任ハ其原因タル行爲ニハ其者ノ意思又ハ
 過失ヨリ出テサルヘカラス他人ノ行爲ニ付テ責ニ任スルコトハ通常之ナキコト
 ナリ斯ノ如キ思想ハ君主ヲ以テ無責任ナルノミナラス無能力ナラシメ統治ノ行
 爲ハ大臣ヨリ出ツルモノタラシメントスル佛國ニ一時行ハレタル立憲說ニ基ク
 モノナリ三權ハ立法司法及大臣ノ權力ナリ國王ハ三權ノ上ニ在リテ之ヲ調和ス
 ル中立ノ權力ナリトシ從テ君主ハ何等積極的ノ行爲ヲ爲スモノニアラス統治ノ
 行爲ハ大臣ノ行爲ナリト爲ス斯ノ如キ思想ノ我憲法ニ於テ用ユヘカラサルコト
 ハ固ヨリ明ナリ君主ハ固ヨリ統治權ヲ行使スルモノニシテ大臣ハ之ヲ輔弼スル
 者ナリ君主ノ無責任ナルハ無權力ナルカ爲ニハアラスシテ君主ノ地位ノ當然ノ
 結果ナリモンテスキューカ君主ハ惡ヲ爲スコト能ハス若シ之ヲ爲スナラハ大臣

ノ責任ナリト云ヒタルモ又採用スルコトヲ得ス或ハ統治ノ行爲ハ君主ト大臣ト
 ノ共同ノ行爲ナリ統治ノ行爲ニ付テ君主ハ無責任ナリトスルモ之ニ共同シタル
 大臣ハ責任ナクンハアラスト云フ者アリト雖モ輔弼ハ君主ノ行爲ニ共同スルモ
 ノニハアラスシテ大臣ハ君主ト共ニ統治權ノ主體ヲ形成スルモノニアラサルコ
 トハ言ヲ竣タサル所ナリ大臣ノ責任ハ前既ニ述ヘタルカ如ク輔弼ノ責ニ任スル
 モノナリ職務アル者ハ其責ニ任セサルヘカラス之ヲ憲法ハ明言シタルニ過キス
 責任ノ性質ニ付テ或ハ大臣ノ責任ハ政治上ノ責任ニ限ルト云フ者アリ又ハ政治
 上ノ利害得失ノ外法律ニ適シタルヤ否ノ責任ヲ負フト云フ者アリ又ハ法律上ノ
 責任ニ限ルト云フ者アリ其範圍ノ定メ方ノ廣狹ハ議院政治ノ國ニ於テ統治ノ大
 臣ノ上ニ行フ所ノ勢力ノ強弱ト重大ナル關係アルコトナリ併シナカラ大臣ノ責
 任ヲ以テ其輔弼ノ職務ニ對スル責任ナリトセハ必スシモ之ヲ以テ政治上ノ利害
 得失ニ付テノミノ責任ト爲スニ及ハス其職務ニ對スル責任ナリトセハ必スシモ
 之ヲ以テ政治上ノ利害得失ニ付テノミノ責任ト爲スニ及ハス其職務ニ付テ一切
 ノ責任ナリト云ハサルヘカラス忠誠ニ其職務ヲ竭シ之ヲ誤ラサルノ責任ナリ違

法ナルコトニ付テハ固ヨリ責任アリ國家ノ利害ヲ傷フコトニ付テモ亦責任ナク
 シハアラス
 責任ヲ負フヘキ態様ニ付テ又大臣ノ責任ハ數多ノ大臣カ連帶シテ之ヲ負フモノ
 ナリト云フ者アリ議院政治ヲ行ヒテ大臣ヲ以テ議院ノ代表者ト爲シ議院ノ多數
 ニ從テ大臣カ進退スルモノトセハ大臣ヲ以テ一團ヲ形成シ連帶シテ責ヲ負ヒ袂
 ヲ連ネテ進退スル者ナリトスルコトカ議院政治ヲ行フノ當然ノ結果ニシテ又之
 ヲ便利ナリトスルカ故ニ例ハ英ニ於テハ内閣制度發達シ大臣ハ皆同意見ヲ有シ
 多數決ヲ以テ其議ヲ決シ之ニ隨テ閣員ハ行動スルモノニシテ責任ハ連帶シテ之
 ヲ負フモノトセラル我國ニ於テハ國務各大臣カ天皇ヲ輔弼スルモノナリ一大臣
 カ輔弼ノ責ヲ怠ルモ他ノ大臣カ之ヲ忠實ニ盡スニ妨ナシ大臣ノ責任ハ連帶シテ
 之ヲ負フモノニハアラス
 大臣ノ責任ヲ訴追シ又ハ糺彈スル機關ニ付テモ種々ノ思想アリ大臣ノ責任ハ國
 會ニ對スル責任ニシテ之ヲ糺彈スル機關ハ國會ナラサルヘカラス又ハ國會ノ訴
 ニ依リテ一定ノ裁判所カ之ヲ訴追ス其外ニ大臣ノ責任ヲ問フヘキ機關アルコト

ヲ得ス若シモ憲法ニ於テ國務大臣ノ責任アルコトヲ規定シ之ヲ糺彈訴追スル機
 關ヲ定メサルモノハ一ノ不完全ナル法律規則ナリ又ハ斯ノ如キ機關ノ定メナク
 シハ大臣ノ責任ハ國會ニ對シテ答辯スルノ責任ナリ又ハ國會ノ不信任投票ニ對
 スル責任ナリト云フナリ固ヨリ憲法ヲ以テ一定ノ職務ヲ定メ其責任ヲ規定スレ
 ハ之ヲ糺彈スル方法機關ナカルヘカラス政策ノ利害ヲ考ヘ或ハ國會ト定メ或ハ
 東京區裁判所ト定ムルコトヲ得ン併シナカラ憲法ニ何等ノ機關ヲ指定スルニア
 ラサレハ之ヲ東京區裁判所ナリト云フコトハ何等ノ根據ナシ職務ヲ監督スル者
 カ自然責任ヲ糺彈スルノ機關ナラサルヘカラス我憲法ニ於テハ其故ニ大臣ノ責
 任ハ天皇ニ對スル責任ニシテ之ヲ糺彈スル者ハ天皇ナリ故ニ我憲法ノ規定ハ所
 謂不完全ナル法律規則ニアラス又唯主觀的ノ責任ヲ定ムル政治上道德上ノ主義
 原則ヲ定ムルニ過キサルモノニモアラサルナリ
 立法權及司法權ニ對シテ行政府ヲ總テ政府ト云フコト行ハル憲法ニ於テモ屢政
 府ナル文字ヲ用キタリ併シナカラ政府ノ文字ノ用法ハ憲法上一定セス或ハ天皇
 ヲ指スカ如ク或ハ國務大臣ヲ指稱スルカ如ク或ハ行政ノ諸機關ヲ總稱スルカ如

クニモアリ抑政府ト云フハ本來政治ヲ行フノ府ト云フノ意味ナリ故ニ統治ノ機關ノ全體ヲ政府ト云ヒ又ハ國家ノ爲スコトヲ政府ハ條約ヲ締結スト云フカ如キ場合ニ用キルコトアリ立憲政體ノ起ルニ及ヒテ立法權ハ國會ニ依リテ之ヲ行ヒ司法權ハ裁判所ノ權限ト爲シタルニ依リテ政府ノ司ル所ノ範圍ハ自ラ狭クナリ之ヲ除キタル諸機關ヲ概括シテ政府ト云フニ至リタルコトナラント思考ス三權分立ノ主意ニ從ヘハ行政權ノ機關カ即チ政府ナリ國王カ政府ノ首長ナルカ又ハ大臣ノ統括スル所カ政府ナリ併シナカラ君主ヲ以テ行政權ノ首長トシ之ヲ指シテ政府ト云フハ我國體ノ容レサル所ナリ大臣ヲ以テ行政ノ統括者トシ之ヲ政府ト云フモ亦我憲法ノ仕組ニハアラサルナリ憲法ニ於テ政府ト云フハ大體ニ於テ天皇ヲ輔弼シ行政ノ機關ヲ代表スル國務大臣ヲ中心トシテ之ヲ國會及裁判所ニ對照シタル意味ト解釋スルヲ以テ可ナリト信ス

國務大臣ノ地位及責任ヲ話シタル序ニ政府ト國會トノ關係ニ付テ我憲法ノ特色タル所以ヲ示シ等シク立憲政體ト云フト雖モ我國ノ制度ト異ナルモノト比較セシト欲ス

立憲政體ニハ假ニ之ヲ大別スレハ二種類アリ一ヲ議院政治ト云ヒ他ヲ大權政治ト云ヘハ適當ナラン議院政治ノ國ニ於テハ議院ハ自ラ行政スルナリ政府ハ議院ノ政府ニシテ議會ヨリ獨立シタル政府ニハアラズ所謂パトリアメンタリズムガバメント又ハパトリアメンタリズムニキゼキエーチヴナリ斯ノ如キ國ニ在リテハ議院ハ實際ニ於テ統治權ヲ總括スルモノニシテ獨リ三權ノ一ヲ行使スルニ與ル機關ニハアラズ國王ハ虛位ヲ擁シテ治スレトモ統セス大臣ハ議院ノ代表委員ニシテ國王ノ任命スル所ニハアラズ國王ハ議會ノ選定シタル大臣ヲ拒ムコトヲ得ス自己ノ欲スル大臣ヲ任命スルコトヲ得サルナリ斯ノ如キ國ニ於テハ余カ大臣ノ地位責任ニ付テ我憲法ノ規定ノ解釋トシテ述ヘタルトハ全ク反對ナリ大臣ハ國王ヲ輔弼スルニハアラズシテ國王ヲ眼中ニ置カスシテ議院ノ意見ニ從テ統治スルナリ大臣ノ副署ハ君主ノ命ニ依リ行ハルニハアラズシテ自ラ之ヲ行フコトヲ證明スルナリ固ヨリ副署ヲ拒ムコトヲ得サルヘカラス大臣ハ國王ノ信任ヲ失フト雖モ辭職セス併シナカラ議院ノ信任ヲ失ヘハ一日モ其地位ニ止マルコトヲ得ス議院ノ不信任投票ハ大臣カ進退スル唯一ノ條件ナリ斯ノ如キ國ニ於テ君主ニ

對シテ職務上ノ責任アリト云フモ無意味ナリ責任ハ固ヨリ其任命者タリ監督者タル國會ニ對スルモノナラサルヘカラス大臣ヲ彈劾スル者ハ國會ナリ又或ハ強テ彈劾ノ手段ヲ取ラストモ不信任ノ投票ハ既ニ大臣ヲシテ其位ニ止マルコトヲ得サラシムルカ爲ニ充分ナリ大臣ハ意見ヲ一ニシテ議院ヲ代表スルカ故ニ自ラ責任ハ連帶ナラサルヘカラス内閣制度ヲ爲サハルヘカラス此議院政治ノ勸ヲシテ完全ナラシムルモノハ議院ノ毎年ノ租稅承諾ノ權ナルコトハ前ニモ之ヲ詳述シタリ租稅ノ承諾ト大臣ノ國會ニ對スル責任トハ議院政治ノ二大要目ナリ之レナケレハ議院政治ハ行ハルコトヲ得ス之レアラハ立憲政治ハ議院政治ナリ是レ大權政治ノ仕組トハ根本的ニ異ナレリ租稅ハ毎年之ヲ承諾スルモノニアラスシテ永久ノ法律ニ依リテ定マル議院ハ初ヨリ政府ヲ強制スル手段ヲ有セス議院ハ天皇統治ノ立法ノ機關ニシテ自ラ行政スルモノニアラス大臣ハ國王ノ命スル所ニシテ官吏ヲ命スル大權ノ一部ナリ從テ國會カ大臣ノ不信任ヲ議決スルモ君主ノ親任ヲ繁ク間ハ其位ヲ退クコトナシ國會ニ對スル責任ナルモノアルコトヲ得ス嘗テピスマルクカ云ヘリシ如ク憲法ニ依リテ政權ヲ國王ヨリ大臣ニ移ス

モノニアラスシテ從テ大臣ハ副署ヲ拒ムコトヲ得ス議院政治ノ國ト大權政治ノ國トハ等シク立憲政體ト雖モ政府ト國會トノ關係カ根本的ニ異ナレリ而シテ議院政治ヲ行フニ至レハ單純ニ政體ノ變更ノ問題タルノミナラス國體ハ其自身動搖スルモノト云ハサルヘカラス然ルニ我國ニ於テハ我憲法トハ相容レサル本ニ竹ヲ接クカ如キ議論實際行ハル或ハ内閣不信任ト云ヒ或ハ内閣ノ總辭職ト云ヒ二大政黨併立セザルヘカラスト云フカ如キコトヲ往々耳ニスレトモ頗ル遺憾ノ事ニ屬ス二種ノ國體カ何レカ勝レリ何レカ劣ルト云フコトハ政治上ノ問題ナリ法律家ハ憲法ノ規定ヲ著實ニ解釋セサルヘカラス

樞密顧問

第四章 樞密顧問

樞密顧問ハ天皇ノ諮詢ニ應ヘ重要ナル國務ヲ審議スルノ機關ナリ樞密顧問ハ憲法上ノ機關ニシテ憲法上天皇ノ大政ヲ行フコトニ參贊スル機關トシテ設ケラレタルモノナリ併シナカラ樞密顧問ノ天皇ノ大政ヲ行フニ參贊スルハ國務大臣ノ如ク天皇ヲ輔弼スルニハアラスシテ天皇ノ諮詢ニ應ヘテ重要ノ國務ヲ審議スルナリ樞密顧問ハ進テ主動的ニ意見ヲ上申スルモノニアラスシテ天皇ノ諮詢ヲ

竣テテ始テ意見ヲ上申スルモノナリ諮詢ナクンハ意見ヲ上申スルノ權能ナシ又
 樞密顧問ハ國務ヲ審議スルモノニシテ會議ニ依リテ其意見ヲ決定スルモノナリ
 國務大臣カ各其意見ヲ奉ルト同シカラス樞密顧問カ天皇ノ諮詢ニ應ヘ重要ノ國
 務ヲ審議スル形式方法ハ樞密院官制ノ定ムル所ニ依ル其職權ニ屬スル事項ハ重
 要ノ國務ト云フノミニシテ之ヲ憲法ニ限定セス時ノ必要ニ應シ天皇ハ法律上ノ
 問題ニ付テ又ハ國家ノ重大ナル政策ニ付テ樞密顧問ニ諮詢ヒラル樞密院官制ハ
 所謂重要ノ國務ナルモノヲ列舉セリ併シナカラ之ヲ限定スル意味ニハアラス其
 重ナルモノヲ掲ケルニ過キス天皇ハ國家ノ重要ナル事件ニ付テ如何ナルコトヲ
 モ樞密顧問ニ諮詢スルコトヲ得蓋憲法上樞密顧問ヲ置カレタル主意ハ國家ノ元
 老ヲ集メテ政局ノ外ニ立タシメ公平誠實ニ國家ノ利害ヲ判斷セシムルニ在リ
 而シテ
 第五節 第五章 裁判所
 司法權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フ司法權ヲ行使スルノ機關ト
 シテ裁判所アリ司法權ノ何タルヤハ後ニ之ヲ述フヘシ要スルニ民事刑事ノ裁判
 ヲ謂フ故ニ憲法上ニ所謂司法權ハ實質的ノ意味ニ於ケル司法ノ全部ニハアラス

而シテ裁判所ノ權限ト定メラレタルモノハ或非訟事件ノ如キ本來行政ノ事項
 ナルモアリ形式的ノ司法權ハ之ヲ包含シタル意味ニシテ憲法ニ司法權ハ裁判所
 ニ依リテ行フト云ヘルハ畢竟民事刑事ノ裁判ヲ行フト云フ意味ナリ斯ノ如ク司
 法權ヲ獨立ノ機關ヲシテ行ハシムルト云フコトカ立法及行政ヨリ司法權ヲ分離
 シタル立憲政體ノ主意ナリモンテスキュー曰ヘルアリ若シ裁判權カ立法及行政
 ノ權カト分離セラレサルトキハ自由ハ存在スルコトナシ裁判權カ立法權又ハ行
 政權ト結合セラルトキハ國民ノ生命及自由ニ對スル權利ハ專横ナル支配ノ下
 ニ居ルナラント憲法第五十七條モ畢竟此主旨ニ依ルモノニシテ裁判ト云ヘル國
 權ノ作用ハ特別ノ形式即チ裁判所ニ依リ之ヲ行フコトヲ定ムルモノトス
 憲法第五十七條ハ此意味ヲ明ニシテ司法權ハ天皇ノ名ニ於テ裁判所之ヲ行フト
 明言セリ天皇ノ名ニ於テトハ一方ニ於テハ天皇ノ司法權ナルコトヲ示シ他方ニ
 於テハ天皇自ラ之ヲ行ハス獨立ノ裁判所ト云ヘル機關ニ依リテ之ヲ行フコトヲ
 示セリ司法權ノ天皇ニ屬スルコトハ言フ竣タヌ天皇ハ統治權ヲ總攬ス司法權モ
 亦天皇ノ行フ所ナリ立憲政體ヲ行フト雖モ裁判所ヲ以テ司法權ノ主體ト爲スニ

アラサルコトハ言ヲ改タス天皇ノ名ニ於テトハ又天皇ニ屬スル司法權ナルモ天皇自ラ之ヲ行ハス其名ニ於テ裁判所ト云ヘル獨立ノ機關カ之ヲ行フ三權分立ノ精神ニ依レハ司法權ハ立法及行政ノ權ト全ク分離セラレテ行ハレサルヘカラス即チ司法權ヲ以テ行政及立法ノ干涉ノ外ニ置キ又司法權ヲシテ他ノ二權ヲ侵サシメサルモノト爲サ、ルヘカラス司法權ノ行政及立法ノ干涉ヲ受ケサルコトヲ司法權ノ獨立ト云フ司法權ノ獨立ハモンテスキューカ主張シタルカ如ク之ヲ獨立ノ機關ニ依リテ行ハシメ人ノ權利自由ヲ保護スル所以ナリ斯ノ如キ司法權ノ獨立ヲ保障スルカ爲ニ存スル所ノ原則ハ次ノ如シ

第一 司法裁判ノ手續ハ法律ノ定ムル所ニ依ル 訴訟法ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ムヘク裁判ノ手續ニ於テ行政機關ノ干涉ヲ受クルコトナシ大權ニ依ル命令ニ依リテ裁判手續ヲ定ムルコトヲ得ス又行政ノ機關政府大臣ハ法ノ解釋ヲ指圖スルコトヲ得ス憲法ハ此司法裁判ノ手續カ一ニ法律ノ定ムル所ニ依ルヘキコトヲ定メ司法權ハ法律ニ依リテ之ヲ行フト云ヘリ

第二 裁判所ノ構成ハ又法律ニ依リテ之ヲ定ム 憲法第五十七條第二項ハ裁判

所ノ組織權限ノ分配ヲ命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ス法律ニ依ルヘシトスルハ前ノ原則ノ結果ニシテ又之ヲ補充スルモノナリ行政ノ機關ハ恣ニ特別ノ裁判所ヲ設ケ之ヲ以テ司法權ノ機關ト爲スコトヲ得ス法律ニ依ルニアラサレハ裁判所ノ構成ヲ定ムルコトヲ得ス從テ特別ノ事項ニ付キ特別ノ種類ノ人ニ對シテ特別ノ民事刑事ノ裁判所ヲ設クルナラハ又固ヨリ法律ニ依ラサルヘカラサルナリ憲法ハ之ヲ明言シ特別裁判所ノ管轄ハ法律ノ定ムル所ニ依ルト明言セリ

第三 司法裁判ノ手續及裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定メ行政ノ干涉ノ外ニ置クモノナレトモ立法權ヲ以テ司法ニ干涉スルコトヲ得サルナリ 即チ法律ノ形式ヲ以テ自ラ係争ノ事件ヲ判決シ又ハ判決ニ關スル請願ニ對シテ決定ノ形式ヲ以テ裁判所ニ干涉スルコトヲ得ス

第四 司法權ノ獨立ヲ保ツカ爲ニ司法官ハ獨立ナルモノト爲セリ 司法官ハ行政及大權ノ干涉ヲ受ケス法律ニ依リテ獨立ノ地位ヲ有ス裁判官ノ資格ハ法律ニ依リテ之ヲ定ム裁判官ハ終身ニシテ法律ニ定メタル場合ニアラサレハ其官

ヲ免セラル、コトナシ裁判官ヲ懲戒スルノ規定ハ法律ニ依ラサルヘカラス斯
 ノ如ク司法官ノ地位ヲ以テ法律ノ保障スル所ト爲シ獨立ナルモノト爲スニア
 ラサレハ司法權ノ獨立ナル行使ハ之ヲ望ムコトヲ得ス國ニ依リテハ尙ホ此外
 ニ司法官ノ獨立ニ付テ憲法ニ規定ヲ設ケタルモノアリ我裁判所構成法ハ又司
 法官ノ獨立ヲ保ツカ爲ニ必要ナル二三ノ制度ヲ設ク

第五 裁判ノ審問判決ハ之ヲ公開ス 裁判ヲ公ニ開クハ又其獨立公平ヲ保ツカ
 爲ニ外ナラス唯公共ノ安寧秩序公ノ風俗ニ害アル場合ニ於テハ裁判所ノ職權
 ニ依リ公開ヲ止ムルコトヲ得命令ヲ以テ其公開ヲ止ムルコトヲ得ス

以上五ノ制度ハ司法權ノ獨立ヲ保ツ所以ノ目的ヲ有スルモノナリ併シナカラ他
 方ニハ司法權ハ固ヨリ他ノ二權ヲ侵スコトヲ得ス

第一 司法裁判ヲ以テ行政ノ作用ニ干渉スルコトヲ得ス裁判所ハ民事刑事ノ事
 件ヲ司ルモノニシテ行政ノ權限ニ屬スルモノヲ決定スルノ權能ナシ裁判所ハ
 行政機關ニ屬スル事項ヲ自ラ處理シ又ハ自己ノ權限ニ屬スルコトヲ行政機關
 ノ權限ニ屬スルモノトシテ放任スルコトナシ斯ノ如キ司法ト行政トノ權限ノ

積極及消極ノ衝突ヲ防クカ爲ニ權限爭議ノ制度アリ又國ニ依リテハ司法ニ對
 スル行政ノ獨立ヲ保ツカ爲ニ官吏カ刑事上ノ犯罪ノ故ヲ以テ裁判所ニ於テ訴
 追セラル、トキハ行政廳ハ之ニ對シテ異議ヲ申立ツルコトヲ得ルモノト定メ
 タル所アリ又行政裁判所ヲ設ケ行政ノ事項ニ付テ行政ノ違法ナル作用ニ對シ
 權利ヲ救済スルカ爲ニ訴訟ヲ許ストキハ之ヲ司法裁判所ノ權限ニ屬スルモノ
 ト爲サスシテ特ニ行政裁判所ノ權限ニ屬セシム固ヨリ實際ノ法制ニ於テハ行
 政ニ關スル事項ト雖モ司法裁判所ノ權限ニ屬セシメラル、場合モアリ併シナ
 カラ憲法第六十一條ハ行政官廳ノ違法ナル處分ニ因リテ權利ヲ障害セラレタ
 リトスル訴訟ニシテ特ニ行政裁判所ノ權限ニ屬セシメラレタルモノハ司法裁
 判所ニ於テ之ヲ受理スルコトヲ得スト定メタリ

第二 裁判判決ヲ以テ立法權ノ作用ヲ爲スコトヲ得ス即チ裁判判決ヲ以テ先例
 ト爲シ之ヲ將來遵守スルコトヲ得ス又裁判判決ヲ以テ一ノ法律ヲ不法又ハ公
 益ニ反スルト云フノ理由ニ依リテ無効ナリト宣言スルコトヲ得ス裁判官ハ法
 律適用スルモノナリ自ラ法律ヲ作ルコトヲ得ルモノニハアラス

裁判官ハ自ラ立法スルコトヲ得ス併シナカラ之ヲ擴張シテ司法官ハ裁判判決ヲ爲スニ當リ一ノ法律ト他ノ法律ト矛盾スルモノト思料スルトキハ例ハ後法ハ前法ニ勝ルノ原則ニ依リ後ノ法律ヲ適用シ又ハ一ノ法律カ憲法ト違反スルトキハ憲法ハ法律ノ上ニ在ルカ故ニ憲法ノ意味ニ從テ解釋シ判決スルコトモ亦爲シ得サルモノト爲スコトヲ得ス却テ之カ司法官ノ職務ナリ之カ法ノ適用ナリ司法官ハ國法ヲ適用スルモノナリ一定ノ事件ニ付テ國法ノ定ムル所如何ヲ決スルナリ自由ニ法律ノ矛盾ヲ解釋シテ其何レカニ決シ憲法ト法律ノ意味ニ依リテ解釋セサルヘカラス是レ司法官ノ權利ニシテ其職務ナリ裁判官ノ法律審査權ノ問題アリ即チ司法官ハ法律ノ規定其内容ニ於テ憲法ノ規定ニ牴觸セサルヤ否ヤヲ審査スルノ權利及義務アリヤ換言スレハ法律ノ規定カ憲法ト違反スルトキハ此理由ニ依リテ之ヲ適用セサルコトヲ得ルヤ又適用シタルトキハ不當ナル判決ト爲ルヤ然レトモ之ニ對スル解答ハ明白ナリ憲法ハ法律ノ上ニ在リ法律ヲ以テ憲法ヲ變更スルコトヲ得ス若シモ法律ヲ以テ憲法ヲ變更スルコトヲ得ルモノトセハ後ノ法ハ前ノ法ヲ改ムルモノナルカ故ニ憲法ニ違

反スル後ノ法律ノ規定ハ現行法ナリ之ヲ適用セサルヘカラス併シナカラ憲法ノ變更ハ憲法變更ノ手續ヲ以テセサルヘカラス法律ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ストセハ憲法ノ欲スル所ハ何時ニテモ現行法ナリ之ニ從ハサルヘカラス憲法ト法律ト矛盾スト解釋スルトキハ憲法ヲ適用スルハ司法官ノ解釋ノ自由ナリ固ヨリ斯ノ如キ法律ノ規定カ無効ナリト宣言スルコトヲ得ス判決ハ唯一ノ事件ニ對スルモノナリ一ノ法律ノ規定カ憲法ニ矛盾スルト云フノ理由ニ因リテ之ヲ適用セサルハ永久ニ其法律カ無効ナリト宣言スルモノニハアラス唯一事件ニ付テ解釋ヲ定ムルナリ斯ノ如ク司法官ハ法律ノ實質内容ニ付テ憲法ニ矛盾スルヤ否ヤヲ審査スルノ權利及義務アリ若シ憲法ニ違反スルモノト解釋スルトキハ之ヲ適用セサルコトヲ得又適用スルコトヲ得サルモノナルコトハ極メテ明白ノ事ナレトモ此點ニ關シ歐洲ニ於ケル通説ハ必スシモ斯ノ如クニハアラスシテ司法官ハ法律ノ規定ノ實質ニ付テ不法ナリヤ否ヤヲ審査スルコトヲ得サルモノナリト云フニ在リ其理由トスル所ハ司法權ハ立法權ト同等ナルモノニハアラス立法權ノ下ニ在ルモノナリ立法權ノ命スル所ハ絶對的ニ

從ハサルヘカラスト云フニ在リ是レ民主々義法律最高主義ニ基クモノニシテ
 彼等ノ憲法ノ仕組ニテハ立法權ヲ以テ司法及行政ノ上ニ在リトスルナリ彼等
 ノ司法官カ法律ノ實質ヲ審査スルコトヲ得サルコトハ誠ニ當然ノ論結ナリ併
 シナカラ此議論ハ我國ニハ用キルコトヲ得ス我國ニ於テハ立法モ司法モ同等
 ナリ然ル以上ハ共ニ憲法ノ下ニ在ル法律カ憲法ニ違反セサルヤ否ヤハ其實質
 ヲ審査シテ國法ノ眞ニ有スル所ノ意味ヲ解釋スルノ權利及義務ハ司法官ニ在
 リトセサルヘカラスト司法官カ警察違反ノ法律ヲ適用セサルハ眞ノ國法ヲ適用
 スルナリ若シモ之ヲ適用スレハ國法ノ欲セサル判決ヲ爲スモノテリ
 法律ニ依リテ之ヲ定ムヘキコト、云ヒ之ニ依リテ司法權ノ獨立ヲ保障ス司法官
 ノ法律審査ノ權能ニ付テ定ムルモノニアラサルナリ司法官ハ法規ノ實質ヲ審査
 シテ何カ現行法規ナルカヲ解釋シ之ヲ適用スル權利ト義務トアルコトハ法律ニ
 付テモ命令ニ付テモ同様ナリ裁判官ハ國法ヲ適用スルモノナリ法律ヲモ適用シ
 命令ヲモ適用シ又慣習法ヲモ適用スルナラン命令ト法律トノ間ニ形式的ノ效力
 ヲ分チ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得スト爲スナラハ法律ニ異ナル命令ハ

司法官ハ之ヲ適用スルコトヲ要セス法律ノ規定ヲ以テ現行ノ國法トシテ之ヲ適
 用セサルヘカラサルナリ法律ヲ變更スルコトヲ得サル命令ハ後ニ詳述スヘキカ
 如ク憲法第九條ノ所謂行政命令ナリ緊急命令ハ固ヨリ法律ニ代ルヘキ勅令ナリ
 法律ニ違反スルコトハ固ヨリ當然ナリ司法官ハ緊急勅令カ憲法ニ反スルヤ否ヤ
 ヲ審査スルナリ憲法上ノ大權事項ヲ定ムル命令ハ法律ト互ニ相牴觸スヘキモノ
 ニハアラス其實質ハ法律ト牴觸スルコトナシ併シナカラ裁判官ハ憲法上ノ大權
 事項ヲ定ムル命令ノ憲法ニ違反スルコトナキヤ否ヤヲ審査スルナリ斯ノ如ク司
 法官ハ法律及命令ノ實質ヲ審査シテ現行ノ國法タルモノヲ適用スルモノナルカ
 其適用スル所ノ法律、命令ハ法律、命令タルノ法定ノ形式ヲ具備セサルヘカラスト
 布式ノ規定ニ依リテ法律タリ命令タル外形ヲ具ヘサルモノハ之ヲ法律又ハ命令
 トシテ認ムルコトヲ得ス法律、命令ノ外形ニ付テ最モ主ナルモノハ大臣ノ副署ナ
 リ司法官ハ是等ノ法律、命令ノ形式ヲ審査スルノ權利及義務ヲ有ス司法官ハ法律
 命令カ法定ノ方法ニ依リテ成立シタルヤ否ヤ殊ニ法律カ果シテ議會ノ協贊ヲ經
 タリヤ否ヤヲ審査スルコトヲ得ルヤ否ヤ凡ソ法律ハ議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ要

ス之ヲ經サルモノハ眞ノ法律ニハアラス故ニ司法官ハ法律トシテ公布セラレタルモノ、協賛ノ有無ヲ審査シテ若シモ協賛ナキモノナラハ之ヲ適用セサルコトヲ得又適用スルコトヲ得サルモノナリト云フ者アレトモ立法權ノ作用ハ獨リ裁可ニ因リテ現ハル協賛ハ立法ノ作用ノ一部ヲ成スモノニハアラス而シテ立法ノ作用ハ全部裁可ナリ故ニ天皇カ一定ノ事項ヲ法律トシテ裁可セラルトキハ之ニ依リテ眞正ナル法律ハ成立シタルモノト云ハサルヘカラス憲法ニ定メタル裁可ニ依リテ證明セラレタルモノナリト云フヘク法律ニ服従スルモノハ裁可ニ服従スルモノニシテ逆テ裁可カ協賛ヲ經タル法律ニ付テ爲サレタルヤ否ヤハ審査スルコトヲ得サルナリ法律トシテ裁可シ公布セラレタルモノハ或ハ協賛ヲ缺クト雖モ司法官ハ之ヲ適用セサルヘカラサルナリ殊ニ協賛カ完全ニ行ハレタリヤ否ヤ即チ議會ニ憲法ノ定ムル定足數ノ出席アリタリヤ否ヤ出席シタリシ者ノ被選舉權ハ完全ナリシヤ否ヤ多數決ハ果シテ過半數ナリシヤ否ヤハ司法官之ヲ審査スルコトヲ得サルナリ

第四編 統治ノ作用

統治ノ作用

第一章 總論

總論

國家ハ統治ノ組織ナリ何人カ服従スルカ統治ノ主體ト客體ノ分界ニ付テハ既ニ之ヲ述ヘタリ統治ノ主體ハ如何ナル機關ニ依リテ其統治權ヲ行使スルヤ憲法上定メラレタル統治ノ機關ハ又前ニ之ヲ述ヘタリ是ヨリ統治ノ作用ヲ論スヘシ統治ノ作用ヲ論スルハ統治ノ目的内容ヲ論スルニハアラス國家ハ如何ナル理由ニ因リテ存在シ如何ナル目的ヲ遂行セントスルカ國家ノ目的ハ其權力ノ擴張維持及臣民幸福ノ助長ニ在リ併シナカラズ如キ實質内容ノ論究ハ國家學又ハ政治學ニ屬ス法律學ハ形式ノ學問ナリ憲法ノ學問ハ統治ノ作用ノ形式ヲ論ス統治ノ目的ノ爲ニ統治ノ作用ハ如何ナル方法形式ニ依リテ行ハルカ之ヲ此編ニ於テ論セントスルナリ何人カ統治シ何人カ服従スルカハ國家ノ組織ノ國體論タリ統治ノ組織ハ如何ナル機關ニ依リ如何ナル形式ニ依リテ統治スルカ前ニ此機關ヲ述ヘ茲ニ其形式ヲ論スルナリ統治權ノ何タルヤハ再ヒ繰返シテ之ヲ説明セサルヘシ國權ニシテ主權ナリ國家存立ノ目的ノ爲ニ各人ノ意思ニ對シテ絶對的ニ命令強制スル統治ノ作用ヲ爲ス意思ノ力ニシテ最高ナル主權ニシテ無制限ナリ及

憲法 統治ノ作用 總論

ハサル所ナク萬能ナルカナリ斯ノ如ク統治權ノ行使ニハ本來定マレル形式ナルモノナシ如何ナル方法形式ニ依リテモ之ヲ行使スルコトヲ得ルモノニシテ統治權ノ性質上定マレル方法形式ナルモノナシ一定ノ方法形式ナキコトカ寧ロ統治權ノ性質ナリ然ルニ近世ノ立憲政體ニ於テハ統治權ノ行ハル、形式ヲ定ムルニ至レリ統治權行使ノ形式ヲ定ムルコトハ立憲政體ノ本領ナリ之ニ依リテ主權ノ我儘ナル行使ヲ妨ケントスルナリ昔時ニ於テハ君主ノ我儘ニ對シテハ唯道德ノ規則之カ制限タリキ即チ道德上君主カ公平ニシテ正義ニ從ヒ善良ナル政治ヲ行フコトヲ要求シタリ併シナカラ實際上斯ノ如キ道德的ノ要求ハ其目的ヲ達スルコトヲ得サルカ故ニ豫メ統治權ノ行ハルヘキ形式ヲ定メテ統治權ノ行使ハ此形式ニ依ルヘキモノトシ實質上主權ヲ制限スルコトヲ得サルモ其形式ヲ定ムルニ因リテ君主ノ專横ヲ妨ケントスルナリ專制政體ハ斯ノ如キ形式ノ定メナキ政體ナリ故ニ專制政體ハ動モスレハ君主ノ專横ト爲リ各人ノ自由ト公共ノ秩序トハ之ヲ維持スルコトヲ得サルナリ其行政ノ形式ヲ改メ定ムルコトハ此專制政體ノ弊害ニ對スル最モ適切強固ナル保障ト云ハサルヘカラス其形式トハ如何ナルモ

ノナルヘキカ第十八世紀ノ末葉モンテスキューカ法ノ精神論ナルモノヲ著シテ專制政體ノ弊ヨリ救ハントスルニハ國家ノ權力ヲ三分シテ各獨立ノ人ヲシテ之ヲ行ハシムルニ在リト主張セリ歴史上此主張程重大ナル影響ヲ實際ノ國家生活ノ上ニ及ホシタルモノナシ或ハモンテスキューノ主張ハ理論上誤謬ナルヘキモ其近世國家ヲ作り出シタル根本ノ思想ニシテ立憲政體ナルモノ、之ヨリ生スルニ至リタルコトハ否ムヘカラサル事實トス

近世憲法ノ二大思想ハ權力分立ノ外民主主義ナリ民主主義即チ人民ヲ以テ主權者ナリト云フ思想ハ專制ノ君主主義ニ對スル反動ニ依リ又強キ影響ヲ近世國家ノ改造ノ上ニ及ホシタリキ故ニ權力分立主義カ行ハレタルモ同時ニ立法最高主義又ハ國會ヲ以テ最上トスル制度行ハレタリ共和國ハ姑ク之ヲ措クモ君主主義ハ之ニ依リテ變形シテ或ハ君主ハ人ノ言フカ如ク世襲ノ大統領ト爲リタル者モ之アリ君權ハ制限セラレ議院ヲ以テ專ラ權力ヲ有スルモノトスル議院政治行ハレ又ハ國會ヲ以テ君主ト共ニ國ノ直接機關ナリトセラレ君主ハ獨リ統治スルニアラスシテ國會ト共ニ統治スルモノナリトセラレタリ新シキ憲法ノ模範ト爲リ

タル白耳義ノ憲法ハ人民ヲ以テ主權者ト爲シ國會カ統治者ナリト爲セリ英ノ政體ハ議院政治ナリ其他ノ國ニ於テハ君主ハ國會ト共ニ統治スルモノナリ斯ノ如クナレハ君主國ノ君主國タル所以ハ失ハル、モノニシテ權力分立主義ヲ行フト雖モ之ト相並ヒテ近世憲法ノ總領タル民主主義ノ爲ニ壓倒セラレテ權力分立ノ實モ亦行ハレサルニ至レリ權力分立ノ精神ハ君主主義ヲ維持シタル所ニ於テ最モ完全ニ行ハル我明治憲法ハ權力分立ノ主意ニ依リテ仕組マレタルモノナリ固ヨリ權力ヲ數多ノ主體ニ分ツモノニハアラス君主主義ハ之ヲ貫徹セリ唯之ヲ行使スルニ付テ憲法上統治ノ作用ヲ立法司法及大權ニ分チ各其行使ノ方法ヲ異ニセリ之ニ依リテ統治ノ目的ヲ最モ完全ニ達シモンテスキューノ主張シタル所ニ最モ良ク協ヒ自由ト秩序トヲ完全ニ維持保障セントセリ是ヨリ此主義ニ依リテ出來上リタル憲法ノ定メタル統治ノ各種ノ作用ノ行ハル、方法形式ヲ論セント欲ス茲ニ一言注意スヘキコトハ權力分立ノ立憲政體ノ精神ニシテ我憲法ハ此精神ニ依リテ出來シタリト云フコトニ依リテ我憲法ノ規定ハ同一ノ精神ヲ有スル李魯士ノ憲法、白耳義ノ憲法ト其規定及條文カ同一ナリト云フ意味ニ考フルコト

ヲ得ヌ同一ノ精神ハ異ナルル具體的ノ規定ニ依リテ違スルコトヲ得我憲法ノ規定ハ必スシモ是等諸國ノ憲法ノ規定ト同一ニハアラサルナリ箇々ノ條文ヲ解釋スルニ當リテ李魯士憲法ノ解釋ヲ以テ直ニ帝國憲法ノ規定ナリト爲シ白耳義ノ憲法ノ規定ヨリ類推シテ帝國憲法ノ定ムル所モ亦斯ノ如シ斯ノ如クナラサルヘカラスト考フルコトヲ得ヌ具體的ナル憲法ノ規定ハ國々相異ナル所謂立憲主義ナルモノヲ豫定シテ皆之ヲ貫徹シ一様ニ結論スルコトヲ得サルナリ

第二章 憲法上ノ大權

憲法ハ立法權ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ行ヒ司法權ハ裁判所ニ依リ之ヲ行フコトヲ定メタリ其他國家ノ歳入歳出ノ豫算ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム斯ノ如ク一定ノ方法形式ヲ定ムルモノヲ以テ統治權ノ一切ノ作用カ盡クルニハアラス然ラハ憲法ニ何等ノ方法形式ヲモ定メサル統治權ノ作用ハ憲法ナクシハ天皇ハ一切ノ政務ヲ自ラ形式ノ定ナク行フカ如ク當然天皇カ總テ自ラ行ヒ得ル所以ナリ即チ如何ナル形式方法ニ依ルモ之ヲ行フコトヲ得憲法上一定ノ機關ノ參與ヲ必要トセサルモノハ天皇之ヲ親裁シテ行フナリ斯ノ如キモノヲ廣ク大權ト命名セン

憲法上ノ大權

憲法 統治ノ作用 憲法上ノ大權

大權トハ天皇親裁シテ行フト謂フ意味ナリ憲法上一定ノ形式方法ヲ定メサル如何ナル機關ノ參與ヲモ要件トセサルモノナリ斯ノ如ク大權ニ依リテ行フト得ル統治ノ作用ノ範圍ハ廣クシテ及ハサルナク積極的ニ之ヲ數フルコトヲ得ス專制時代ニ於テハ總テノ統治權ノ作用ハ大權ナリ立憲政體行ハレテ憲法上統治權ノ或働ニ特種ノ方法形式及特種ノ機關アルコトヲ定メラル、ニ依リテ定メラレサル殘リノモノヲ之ト區別スル爲メ特ニ大權ト云フノミナリ是故ニ大權ノ範圍ハ消極的ニ限定スルコトヲ得ルノミ立法權ノ如キ司法權ノ如キ憲法上特種ノ機關ヲ定メラレサルモノハ皆大權ナリ

大權トハ統治權ノ作用ノ一部ニシテ憲法上特定ノ形式ヲ定メサルモノヲ謂フ即チ立法權ハ議會ノ協贊ヲ以テ之ヲ行ヒ司法權ハ天皇ノ名ニ於テ裁判所之ヲ行フ斯ノ如キモノハ大權ニアラス大權ハ憲法上一定ノ形式ヲ定メラレサル統治ノ作用ナリ天皇カ總テ自ラ之ヲ行フ憲法上之カ爲ニ特定ノ機關ヲ設ケサルナリ如何ナル方法ニ依ルモ自由ナリ例ハ道路ニ關シテ警察ノ規則ヲ設クルカ如キハ憲法

上何等一定ノ形式ノ定メナシ

大權ハ斯ノ如ク如何ナル形式ノ定メモナク天皇カ總テ自ラ之ヲ行ヒ又他ノ方法ニ依リテ行フト得ルモノナルモ殊ニ一切ノ廣キ大權ニ屬スル事柄ヲ天皇自ラ行ハル、コトハ事實上不可能ナリ天皇ハ之ヲ各種ノ機關行政ノ官廳ヲシテ行ハシムルヲ常トス然ルニ憲法ハ大權ニ屬スル事柄ノ内一定ノ事項ヲ列舉シテ憲法上天皇之ヲ親裁シテ行フト定メタル事項アリ憲法上天皇ノ親裁ヲ必要トシ即チ憲法上ノ大權トシテ行ハル、コトヲ必要トスルカ故ニ之ヲ名ケテ憲法上ノ大權事項ト云フ

天皇ノ大權ハ極メテ廣シ憲法上一定ノ方法形式ノ定メナキモノハ皆大權ナリ斯ノ如ク自由ナル大權ノ中ニ憲法上必ス大權トシテ行ハルヘキコトヲ定ムル所ノモノハ即チ憲法上ノ大權ナリ

憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ天皇自ラ之ヲ行ハサルヘカラス議會ノ協贊ヲ以テ行フト得ス又他ノ官廳ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得サルナリ

天皇ノ親裁シテ行フト要件トスル事項ハ若シモ天皇之ヲ親裁セサレハ憲法

違背ナリ立法權及司法權ニ對シテ憲法上ノ大權ノ獨立スルコトハ我憲法ノ特色ニシテ三權分立ノ趣意ニ從テ互ニ相侵スコトヲ得ス例ハ條約ヲ締結スルハ憲法上ノ大權ト定ム天皇ハ必ス親裁シテ之ヲ行ハサルヘカラス法律ヲ制定スル手續ヲ以テ條約ヲ締結シ裁判所ニ依リテ外國ト條約スルカ如キハ憲法ノ許サ、ル所ナリ

憲法ノ規定ニ依リ憲法上ノ大權事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 第一 法律ヲ裁可シ其公布及執行ヲ命スルコト
- 第二 帝國議會ヲ召集シ其開會閉會停會及衆議院ノ解散ヲ命スルコト、必要アル場合ニハ三箇月ノ會期ヲ延長スルコト、臨時緊急ノ必要アル場合ニ臨時會ヲ召集シ其會期ヲ定ムルコトハ天皇ノ大權ニ屬ス
- 第三 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ災厄ヲ避クル爲メ緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發ス
- 第四 天皇ハ法律ヲ執行シ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スルカ爲メ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシム

發セシムト言ヘルハ命令ヲ發スルコトヲ行政官廳ニ命スルコトヲ謂フ斯ノ如ク行政官廳ノ命令カ大權ニアラスシテ之ヲ發スルコトヲ命スルコトカ親裁ノ政務ナリ

第五 天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ヲ任免ス但此憲法又ハ他ノ法律ニ特例アルモノハ大權ニ屬セス

官制ヲ定ムルハ天皇ノ憲法上ノ大權ナルカ故ニ法律ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ス是故ニ官制上既存ノ官廳ニ法律ヲ以テ一定ノ事務ヲ行ハシムル規定アリトスルモ之ヲ以テ法律カ自ラ官制ヲ定ムルモノトスルヲ得ス之ニ依リテ官制々定ノ大權ハ少シモ動カサル、コトナク天皇ハ後ニ大權ヲ以テ其官廳ヲ廢止シ其權限組織ヲ變更スルヲ得サルヘカラス

第六 天皇ハ陸海軍ヲ統帥シ且陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム

議會ノ豫算ヲ議定スル權能ニ依リテ或ハ軍隊ノ常備兵額ヲ動カサントスルカ如キコトアリト雖モ固ヨリ天皇ノ大權ニ屬スルコトニシテ常備兵額ヲ定ムルハ議會ノ干涉ノ外ニ在ルナリ

第七 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ條約ヲ締結ス
條約ハ國際關係ヲ定ムル條約通商航海條約其他一切ノ條約ヲ謂フ條約ニ付
テハ後ニ之ヲ述フヘシ

第八 戒嚴ヲ宣告スルハ天皇ノ大權ナリ
戒嚴トハ戰事若ハ事變ニ際シ一定ノ區域ヲ常法ノ外ニ措キ司法行政ノ作用
ヲ軍隊ノ手ニ移シ臣民ノ自由ニ對シ特ニ平時ヨリモ重キ制限ヲ爲スコトヲ
謂フ其重キモノヲ合圍地境ト云ヒ稍輕キモノヲ臨戰地境ト云フ
併シナカラ戒嚴ノ要件及效力ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

第九 天皇ハ爵位勳章及其他ノ榮典ヲ授與ス

第十 天皇ハ大赦特赦減刑及復權ヲ命ス
大赦トハ特定ノ種類ノ犯罪ニ付キ全國ヲ通シテ一般ニ刑罰ヲ赦免スルコト
ヲ謂ヒ特赦トハ特定ノ人ニ對シ刑罰ヲ赦免スルコトヲ謂ヒ減刑トハ刑罰ヲ
減輕スルコトニシテ復權トハ刑事ノ宣告ニ因リ失ハレタル權利ヲ回復スル
コトヲ謂ヒ是等ヲ總稱シテ赦免大權ト云フ司法權ノ行使ニ對シテ其既ニ宣

告シタル刑罰ヲ消滅シ又ハ輕減セシムルモノナリ併シテカラ自ラ刑罰ヲ宣
告シ自ラ司法權ヲ行使スルニアラス宣告サレタル刑罰ヲ行ハサラシムル行
政的ノ處分ナリ

第十一 天皇ハ貴族院ノ組織ヲ定ム

第十二 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ必要アル場合ニ於テ内外ノ
情況ニ依リ議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ財政上必要ノ處分ヲ爲スコ
トヲ得

第十三 憲法改正ノ發案ヲ爲スハ天皇ノ大權ニ屬ス

欽定憲法ノ主義ヲ貫キテ憲法改正ノ發案ハ議會ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得サ
ルモノトス

第十四 皇室典範ノ制定及改正ハ天皇ノ大權ニ屬ス帝國議會ノ議ヲ經ルコト
ヲ要セサルナリ

皇室典範ハ皇室一家内部ノ私ノ規則ヲ定ムルモノニアラスシテ皇位繼承者
タル順序ヲ定メ攝政タル順序ヲ定メ其他重要ナル國法ノ一部ナリ併シナカ

ラ其制定及改正ハ天皇ノ大權ニ屬スルモノトセリ

以上ハ憲法ノ規定ニ付キ憲法上天皇ノ大權ト定ムルモノヲ列舉シタルモノニシテ繰返シテ之ヲ説明スレハ立法ノ事項ハ議會ノ協贊ニ依リ又司法ノ事項ハ裁判所ニ依リテ之ヲ行フト云フカ如キ憲法上特定ノ形式機關ヲ定メサルモノニシテ總テ天皇カ親裁シテ行フコトヲ要スル大權ニ屬スルモノナレトモ憲法ハ特ニ之ヲ大權トシテ行フコトヲ定メタルモノニシテ天皇カ之ヲ親裁シテ行フコトヲ憲法上ノ要件トス故ニ天皇カ親裁シテ行フコトヲ得ル政務ハ之ニ限ルモノニアラス天皇ノ大權ハ極メテ廣シ唯其一部分ヲ特ニ天皇カ親裁シテ行フコトヲ要件トスルコトヲ定ムルノミ是故ニ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ外國ノ制度ニ在ル國王ノ特權ト云フモノトハ全ク其根本ノ性質ヲ異ニス國王ノ特權ハ國會カ國民ノ代表者トシテ統治ノ全權ヲ掌握スルニ至レルトキニ其一部ヲ恩惠的ニ國王ニ留保シ特ニ國王カ一定ノ事項ヲ行ヒ得ルコトヲ定メタルナリ故ニ特權ハ明文慣例ヲ以テ明カニ認メラレタル事項ニ限ル國王ハ其外ニ何事ヲモ爲スコトヲ得ス而シテ國會ハ何時ニテモ國王ノ爲シ得ル特權ノ範圍ヲ伸縮スルコトヲ得我天皇及

立法權

國會ノ關係ト主客正ニ相反ス大權事項ノ列舉ヲ見テ君主特權ノ制度ヲ模倣セルモノト爲シ天皇ノ爲シ得ルコトハ之ニ限レルモノト考フヘカラス

第二章 立法權

立法權トハ法律ヲ制定スル統治權ノ作用ナリ法律トハ何ソヤ文字ノ示ス所ニ依レハ一般國法ト云フカ如ク廣キ意味ナリ實質的ニ法則ヲ定メタルモノヲ法律ト云フ併シナカラ立憲政體カ行ハレ三權ヲ分チ國會ヲ以テ立法ノ機關ト爲スニ迨テ法律ト云フハ單ニ法則ト云ヒ又國法ト云フ外ニ其之ヲ制定スル所ノ機關ヲ眼中ニ置キ國會ノ制定スル所ヲ以テ法律ト云フニ至レリモンテスキューノ最初主張シタル所ハ凡ソ國法ヲ制定スル作用ハ之ヲ特殊ノ機關ヲシテ行ハシムルニ依リテ自由ノ保障ヲ得ントスルニ在リ三權分立ノ目的トシタル所立憲政體ノ最初ノ思想ハ國法即チ文字通りノ意味ニ於テ法律ヲ制定スルハ皆國民ヲ代表スル國會ノ爲ス所タラシメントスルニ在リタリ是故ニ國會ヲ稱シテ直ニ立法權ト云ヘリ民主主義ノ思想ニ依レハ凡ソ臣民行爲ノ規則即チ文字通りノ意味ニ於テ法律ハ國民全體ノ意思ナリ國民全體ノ意思ニ新ニ附加ヘ又ハ之ヲ變更セントスルニ

ハ國民ノ代表會議ニ依ラサルヘカラス國會ヲ以テ唯リ立法權ヲ委ヌル所ト爲スナリ歴史法學ノ思想ニ依レハ凡ソ法律ハ國民ノ間ニ發生スルモノナリ國民以外ノ者ニ依リテ制定セラル、法律ナルモノナシ是等ノ思想ニ依レハ文字通りノ意味ニ於ケル法律即チ國法ト云フコト、國會ノ制定スル法則ト云フコト、ハ其範圍ニ於テ廣狹ノ區別ナシ國會ノ制定スル所以外ニ國法ナルモノナシ併シナカラ是等ノ思想ニ依ルモ慣習法ハ既ニ國會ノ制定スルモノニハアラス從テ實質上ノ意味ニ於ケル法律ト國會ノ制定スル所トハ其範圍同シカラス故ニ立憲政體ノ行ハレ國會ヲ以テ法律制定ノ機關ト爲スト共ニ國會ヲ以テ立法ノ權力ト爲スナラハ立法ト云ヒ法律ト云フハ國會ノ制定スル所ト云フコトヲ特ニ眼中ニ置クモノニシテ廣ク一切ノ國法ヲ法律ト云フモノニハアラスナリ法律ナル文字ハ此國會ノ制定ト云ヘル形式ヲ包含セルモノニシテ實質的ニ法則タルモノヲ皆法律トハ云ハサルニ至レリ殊ニ三權分立ノ當初ノ思想ハ凡ソ立法ノ作用ハ國會以外ノモノヲシテ行ハシメサルコトニ在リタルモ實際立憲政體ヲ行フニ至リテハ事實上之ヲ行フコトヲ得ズ法則ヲ定ムル作用ト雖モ各地方ニ特別ナルモノ又ハ

微細ナルモノハ行政機關カ自ラ之ヲ行フトスルノ慣例認メラレ或ハ制度ノ上ニ行政權カ獨立シテ廣キ活動ノ自由ヲ必要トスル警察ニ關スル法則ヲ定ムルコトヲ得ルノ原則認メラレ又ハ法律ニ依リ之ヲ許ストキハ其委任ニ因リテ行政權カ法則ヲ定ムルコトヲ言フモノトセラル、ニ至レリ是ニ於テ國家ノ制定スル法則ト雖モ國會ノ制定セサルモノヲ生シ國會即チ立法權ノ行フ所ハ文字通りノ意味ニ於ケル一切ノ法律ニハアラスナリ前ニ述ヘタルカ如ク諸國ノ憲法ニ於テ立法權即チ國會ノ制定スル所ノ國法ハ國法ノ全部ニハアラスシテ僅ニ其一部ナリ國會ノ制定シタルモノヲ法律ト稱スルナラハ法律ハ國法ノ一部ナリ又歐洲諸國ニ於テ國會ヲ以テ既ニ立法權ト稱スル如ク國會ノ爲ス所ハ皆立法ナリ其議定シテ發表スルモノハ皆法律ナリトセラル議會ノ爲ス所ハ必スシモ皆法則ヲ定ムルモノニアラス嘗テ述ヘタル如ク豫算ヲ定ムルハ議會ノ重ナル權限ナリ其他條約ノ締結ニ同意ヲ與ヘ國債ノ募集ヲ議決スルカ如キ性質上立法ニアラス行爲ヲ爲スモノナルカ之ヲシモ一般通俗ニ又憲法ノ文字ニ於テ法律ト云ヒ立法ト云ヘリ既ニ斯ノ如クナルカ故ニ諸國ニ於テ

法律ト云フハ或ハ其文字ノ示ス意味ニ依リ狭ク或ハ立法ニアラサル行爲ヲモ包含シテ總テ國會ノ爲ス所ヲ法律ト云ヒ實質上ノ法律ト云フヨリモ廣ク使用セリ我憲法ニ於テハ法律ヲ以テ法則ヲ定ムル一切ノ作用ヲ指スモノトセス法律ハ憲法上特ニ斯ル名稱ヲ與ヘラレタル國法ノ一部ナリ之ヲ制定スル作用ノミヲ立法權ト云フ而シテ憲法ハ議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ行フコトヲ定ム議會ノ協贊ヲ經テ定ムル法則タル天皇ノ命令カ即チ法律ニシテ其作用ヲ立法權ト云フ憲法ハ議會ノ協贊ヲ經テ國法ヲ定ムル外例ハ第九條ニ於テ議會ノ協贊ヲ經スシテ天皇カ法則即チ實質上文字通ノ意味ニ於テ法律タルモノヲ制定スルコトヲ定ムルモノヲ法律ト云フ併シナカラ諸國ニ於ケルカ如ク國會ノ爲ス所ハ豫算ノ如キ國債ノ募集ヲ同意スルカ如キ法則ヲ定ムルモノニアラサレハ總テ之ヲ法律ト云ハス國家ノ歳入歳出ハ豫算ヲ以テ議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ定ム國債ヲ募集スルハ議會ノ協贊ヲ經サルヘカラス之ヲ法律ト云ハス立法權ニ屬スル作用トセサルナリ唯國會カ爲ス所ナリト云フ形式ヲ以テ總テ法律ナリト云フハ我憲法ノ採ラサル所ナリ立法權トハ國會ノ權ト云フ意ニアラサルナリ法律ヲ制定スル作用ト云フ意ナリ

權ノ文字ハ甚タ誤解ヲ生シ易シ三權分立說ノ影響ニ因リテ立法權ト云ヒ司法權ト云ヒ又ハ行政權ト云ヒ共ニ獨立ノ權利主體ノ存在スルカ如ク用キラル通俗ノ用法ヲ以テ我憲法モ亦立法權ト云ヘルモ之ヲ國法ノ權カト爲シ國會即チ立法權ナリト云フニハアラサルナリ權力ノ主體ハ天皇ナリ天皇カ法律ヲ制定セラル作用ヲ立法權ト云フ故ニ立法權トハ極メテ簡單ナル意味ヲ有スルモノニシテ議會ノ協贊ヲ經テ法律ト名クル法則ヲ制定セラル作用ニ過キササルナリ之ヲ要スルニ我憲法ニ於テ法律トハ天皇ノ制定スル國法ノ一部ニシテ議會ノ協贊ヲ經テ定ムルモノナリ其實質ハ國法ナリ法則ナリ法規ナリ其形式ハ國會ノ協贊ヲ經テ定ムルト云フコトニ在リ此二ノ原素カ結合シテ法律ノ觀念ヲ成ス獨逸ノ學者中法律ニハ形式的ノ意義及實質的ノ意義アリト云フ人アリ實質的ノ法律トハ總テ國法ヲ指稱シ法律ノ文字通りノ意味ナリ形式的ノ意味ニ於ケル法律トハ國會ノ議定スル所ノモノヲ謂フ其内容ノ法律タルト否トヲ問ハス苟モ國會ノ議定スル所ナラハ豫算ヲ定ムルモ國債ヲ募集スルモ英國皇帝ニ弔詞ヲ呈スルモ皆法律ナリ此學說ハ豫算ノ如キモノカ形式的ニハ法律ナルモ其實質ハ豫算ヲ定ムル法律

トハ異ナレルモノナルコトヲ示ス爲ニ爲シタルモノナリ併シナカラ我憲法ニ於テハ斯ノ如キ説明ヲ爲ス必要ナシ法則ヲ定ムルモノニアラサレハ實質ニ於テ法律ナラサルノミナラス形式ニ於テモ法律ニハアラサルナリ實質的ノ法律即チ法則ニ對スルモノハ一ノ事件ニ對シテ國家ノ發スル命令ナリ所有權ノ範圍ハ法令ニ依リテ定マルト云フコトカ即チ法則ヲ定ムルモノナリ一般抽象的ナリ特定ノ人ノ所有權ヲ鐵道敷設ノ爲ニ取上クルハ法則ニアラス議會ノ協賛ヲ經テ形式的ノ法則タルモノハ又其内容ニ於テ實質的ノ法則タラサルヘカラス是レ憲法ノ精神ナラント思考ス然ルニ實際ニ於テハ例ハ名古屋ヨリ伊勢ニ至ルマテ鐵道ヲ敷設スル場合ニ法則ニアラサルモノヲ法律トシテ制定セリ斯ノ如キモノハ憲法上法律ト云フコトヲ得ルヤ否ヤ甚タ疑ハシ余ハ此實際ノ慣行ハ憲法ノ本旨ニアラサルヘキヲ信ス

立法權ノ三權分立ノ間ニ於ケル地位及關係ハ又自ラ我憲法ニ於ケルト第十九世紀初年ノ佛國立憲說及其系統ヲ傳フル憲法及學說ト異ナル彼ニ於テハ立法權ハ最高ニシテ其範圍モ無制限ナリト云フヲ以テ根本ノ主義ト爲セルモノ、如シモ

シテスキューノ主張シタル所ハ純粹ナル三權ノ對立ニシテ必スシモ立法ヲ以テ司法行政ノ上ニ在ルモノトハ爲サ、リシナリ近世ノ立憲政治ハ立法ニ於テモ學說ニ於テモ獨リモンテスキューカ權力分立說ノミノ影響ニ因ルモノニハアラステト共ニルソーノ社會的民主主義ノ思想モ大ニ勢力アリシコトハ屢之ヲ述ヘタリ民主主義ノ思想ニ依レハ凡ソ國法ハ人民全體ノ意思ナリ歴史法學ノ所謂人民ノ總意ナリ國會ハ人民ノ代表者トシテ國ノ主張ヲ代表シ法律ヲ制定ス法律ハ人民ノ總意ヲ補充シ變更スルモノナリスノ如キ權力ハ固ヨリ之ヲ適用スル司法權及ヒ之ヲ執行スル行政權ノ上ニ在リ法治國ノ主義ハ屢具體的ニ之ヲ主張セリ立法權ハ最高ナリ從テ其範圍モ亦無制限ナリ如何ナル事柄ヲモ制定スルコトヲ得一度行政ノ權限ニ委シタルコトニテモ國會ハ之ニ干涉スルコトヲ得是等ノ憲法ノ下ニ於テハ立法權ノ積極及消極ノ範圍ヲ論スルノ必要ナシ併シナカラ我憲法ノ仕組ニテハ三權ノ中何レカ上ニ在リテ何レカ下ニ在ルモノト爲サス司法權モ立法權モ天皇ノ大權モ相對立シテ平等ナリ天皇カ統治ヲ爲ス作用ヲ分ツモノニシテ權力ヲ分ツニハアラス其間ニ自ラ優劣ナシ立法權ハ議會ノ協賛ニ依リテ

之ヲ行フ司法權ハ裁判所ニ依リ之ヲ行フ殘ル所ハ彼ノ行政權ニシテ天皇ハ大權トシテ憲法上定メタル形式ニ依ラス自由ニ之ヲ行使スルコトヲ得ルナリ故ニ行政權(大權)ハ其本來ノ性質ニ從ヒ特別ノ制限アル外ニハ廣クシテ及ハサルナキ性質ヲ有スルモノナリ又憲法ハ極メテ廣キ命令ノ權ヲ認メタルカ故ニ自ラ立法權ノ積極消極ノ範圍定マラサルヘカラス

司法權ハ裁判所之ヲ行フ獨立ニシテ立法權又ハ大權ヲ以テ之ヲ侵メコトヲ得ス憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ天皇親裁シテ之ヲ行フコトヲ憲法上ノ要件ト定メラレタル事項ニシテ議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ行フハ憲法違反ナリ是故ニ立法權ハ憲法上ノ大權及司法權ヲ以テ其消極的ノ限界ト爲ス憲法上ノ大權ニ屬セシメラレタル事項ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ス立法權ヲ以テ裁判判決ヲ爲スコトヲ得ス法律ヲ以テ憲法ヲ變更スルコトヲ得ス又皇室典範ヲ改正スルコトヲ得サルハ固ヨリ言フ埃タス是皆立法權ニ對スル限界ヲ爲スモノナリ此以外ノ事項ニ付テ憲法ハ積極的ニ法律ヲ以テ定ムルコトヲ要スルモノヲ定ム例ハ臣民タルノ要件ハ法律ヲ以テ之ヲ定メサルヘカラス

斯ノ如キ事項ハ憲法上數多アリ之ヲ名ケテ憲法上ノ立法事項ト云フ積極的ニ立法ノ範圍ニ屬スルコトヲ定メラル例ハ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ他ノ形式ヲ以テ定ムルコトヲ得サルカ如ク憲法上ノ立法事項ハ法律ニ依ラスシテ即チ議會ノ協贊ニ依ラスシテ之ヲ定ムルコトヲ得サル旨ヲ規定セリ憲法ノ規定ニ就テ斯ノ如キ事項ヲ舉クレハ

- 第一 戒嚴ノ要件及效力
- 第二 日本臣民タル要件
- 第三 兵役ノ義務
- 第四 納稅ノ義務
- 第五 居住及移轉ノ自由
- 第六 逮捕、監禁、審問、處罰ヲ恣ニ受ケサルノ自由
- 第七 裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權
- 第八 住所ノ不可侵
- 第九 信書ノ祕密

- 第十 所有權ノ不可侵
 - 第十一 言論、著作、印行、集會及結社ノ自由
 - 第十二 衆議院議員選舉權
 - 第十三 議院法
 - 第十四 裁判ノ方法手續
 - 第十五 裁判所ノ構成
 - 第十六 裁判官ノ任免、懲戒
 - 第十七 特別裁判所
 - 第十八 行政訴訟
 - 第十九 新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルコト
 - 第二十 會計検査院ノ組織及職權
- 是等ノ事項ハ必ス帝國議會ノ協贊ヲ經テ法律ヲ以テ定メサルヘカラス佛派ノ憲法ニ於テハ必スシモ是等ノ立法事項ナルモノヲ列舉セス原則的ニ凡ソ人ノ權利自由ニ付テ定ムルコト更ニ之ヲ廣ク言ヘハ法則ヲ定ムルハ法律ヲ以テスヘシト

云ヘルハ其憲法ノ根本ノ主意ナリ我憲法ハ之ト異ナリテ列舉主義ヲ採レリ必ス法律ヲ以テ定ムヘキ事項ハ之ニ限ル是等ノ事項ニ付テモ常ニ狹ク例外的ノ解釋ヲ爲サル、コトハ嘗テ臣民ノ自由ヲ論スルトキニ之ヲ述ヘタリ併シナカラ立法ノ作用ハ我憲法上所謂立法事項ニ限ルモノニアラス立法事項ハ唯法律ヲ以テ定ムルコトヲ必要トスル事項ヲ掲クルモノナリ其以外ニ前ノ消極的ノ限界ヲ侵サル限ハ立法權ハ如何ナルコトヲモ定ムルコトヲ得ヘシ廣キ活動ノ範圍ヲ有ス是等ノ事項ハ唯上述ノ憲法上ノ立法事項トハ異ナリテ議會ノ協贊ヲ受ケスシテ天皇獨立ノ命令ヲ以テモ亦之ヲ定ムルコトヲ得ヘク立法權ノ範圍ト爲スモノニハアラサルナリ法律ヲ以テモ命令ヲ以テモ定ムルコトヲ得ル所ノ一般國權ノ活動ノ範圍ナリ併シナカラ後ニ述フルカ如ク是等ノ事項ニ付テモ一タヒ法律ヲ以テ定メタルトキハ命令ヲ以テ之ト異ナレル定ヲ爲スコトヲ得ス命令カ定ムルモ後ニ等シク命令ヲ以テ變更シ得ルカ如ク法律ヲ以テ變更スルコトヲ得一度法律ヲ以テ定ムルハ命令ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ス去レハ一タヒ法律ヲ以テ定メタル事項ハ其法律ヲ廢止セサル限り恰モ憲法上ノ立法事項タルカ如キ作用ヲ

爲スモノナリト云ハサルヘカラス憲法上ノ立法事項ヲ種類ニ依ル實質的ノ立法事項ト云フナラハ之ヲ形式的ノ立法事項ト云フヘシ
 法律ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ制定スルモノナリ併シナカラ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ制定スルモノニテ議會自ラ之ヲ制定スルモノニアラサルコトハ繰返シテ之ヲ述フルノ要ナケン法律カ議會ノ協賛ヲ經テ制定セラル、ニハ次ノ順序手續ヲ履ムモノトス

第一 法律案ノ提出

法律案ノ提出トハ法律ノ草案ヲ議會ニ提出スルコトヲ謂フ法律ノ草案ハ或ハ法典起草委員會ニ於テ起草シ又ハ法制局ニ於テ之ヲ起草ス而シテ斯ノ如キ草案カ之ヲ提出スル權限アル者ノ手ニ依リテ之ヲ議定スル權限アル議會ニ提出スルコトヲ法律制定ノ第一ノ手續ト爲ス法律案ヲ提出スルノ權ハ政府及兩議院之ヲ有ス國ニ依リテハ法律ノ發案權ハ或ハ議院ノミ之ヲ有スト爲シ少ナクトモ議案ノ種類ニ依リテハ下院ノミ提出ノ權アルモノト爲ス我憲法ニ於テハ政府兩院孰レモ法律案提出ノ權ヲ有ス而シテ其權限ハ對等ナリ法律案ヲ提出

スルモノハ議院ニシテ議員ニハアラス衆議院ノ議決ヲ經テ之ヲ貴族院ニ廻付スルコトカ提出ナリ一議員カ之ヲ法律案トスルコトヲ發議スルハ俗ニ之ヲ提出ト云フモ憲法上ノ意味ニ於テハ提出ニハアラス法律案ノ提出ニ付テハ兩議院ノ一ニ於テ否決シタル法律案ハ同會期中ニ於テ再ヒ之ヲ提出スルコトヲ得サルノ制限アリ

第二 法律案ノ議決

法律ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム議決ハ協賛ノ形式方法ナリ議決ノ方法ニ付テハ之ヲ述ヘタリ兩院ノ議一致シタルモノヲ法律案ノ議決ト云フ議決ハ法律案ノ確定ニシテ自ラ立法スルニアラス立法トハ法則ヲ定メテ之ヲ臣民行爲ノ準則ト爲シ之ヲ遵守スヘキコトヲ臣民ニ對シテ命令スルナリ斯ノ如キ命令ヲ爲スコトヲ得ルモノハ天皇ナリ議會ハ臣民ニ對シテ命令スルノ權能ヲ有スルモノニアラス又議會ハ天皇ト共同シテ立法スルモノニアラス主權者カ二人以上ヨリ成レル共和國體ハ我國體ニハアラサルナリ立法ノ作用即チ命令ヲ與フル作用ハ單獨ニ全部天皇ニ屬ス議會ノ議決スルハ法律ノ内容ナリ法律ノ案ナ

リ之ヲ天皇カ採用シテ法律ト爲スヘキ案ヲ確定スルコトハ即チ議決ナリ議決ハ其タケノ作用ニシテ議決シタル所ヲ天皇カ法律ト爲サ、ルヘカラスト云フ效果ヲ生スルモノニアラス法律トスルト否トノ自由ハ天皇ニ在リ立法者ハ天皇ナリ

第三 法律ノ裁可

天皇ハ議會ノ協賛ヲ以テ立法權ヲ行フ裁可ハ天皇ノ立法ノ作用ナリ天皇ノ命令スル法律ハ裁可ニ因リテ成立ス裁可ハ立法ノ作用ノ全部ニシテ裁可カ唯獨リ立法權ノ發表ナリ議會ノ協賛ハ天皇ノ立法ニ協賛スルナリ即チ法律案ノ内容ヲ定ムルニ協賛スルナリ天皇獨リ立法スルハ君主國體ノ純正ナル所以ナリ若シモ議會カ天皇ト共ニ立法セハ統治權ノ源ハ天皇ト議會ナリト云ハサルヘカラス君主國ハ變シテ共和國ト爲ラン天皇ノ裁可ノ性質ヲ論シ議會ト共同シテ立法スルモノナリト云フ者アレトモ唯枝葉ノ問題ニ付テ見解ヲ異ニスルノミナラス國體ノ根本ヲ改メントスルモノナルカ故ニ輕卒ナル結論ヲ爲スコトヲ得ス天皇ノ裁可ハ又歐洲ノ憲法ニ在ルカ如キ拒否ノ制度ト異ナレリ拒否ハ

議會ヲ以テ立法者トシ國王ヲ以テ唯之ヲ監督節制スルニ過キサレモノナリト爲ス裁可ハ消極的ナル節制ノ作用ニハアラスシテ自ラ立法スル積極的ノ作用ナリ裁可ノ式ハ公式令ニ定メラレタリ法律ハ裁可ニ依リテ成立ス

第四 法律ノ公布

裁可ニ依リテ成立シタル法律ハ天皇之カ公布ヲ命ス公布ハ法律ヲ公ニ告示シ其執行力ヲ一般ニ及ホサシムルモノナリ公布ニ依リテ法律ハ成立スルニハアラスシテ既ニ成立シタル法律ヲ公布スルナリ併シナカラ公布ハ又單純ナル公告ニハアラス國家ノ權力的ノ行爲ニシテ一般ニ其執行力ヲ及ホサシムル行爲ナリ法律ハ公布アレハ則チ足ル必スシモ其實際ニ普ネク知ラル、コトヲ必要トセス當然其執行ノ力ヲ有ス公布ハ官報ヲ以テスルコト公式令ニ定メラレタリ官報ノ印刷ハ公正ナルモノト看做ス其職權アル者カ之ヲ改ムルマテハ縱令官報ニ誤刷アルモ公正ナルモノト看做サ、ルヘカラス法律ハ公布ノ時ヨリ施行セラル、モノナリ併シナカラ法例ニ法律ハ公布ノ日ヨリ起算シ二十日ヲ經テ施行ス「下定メタリ之ヲ通則トシテ法律ニ於テ特ニ公布ノ日ヨリ施行スルコ

トヲ定メ又二十日ノ施行期限ヲ伸縮スルコトヲ得

命令

第四章 命令

命令トハ大權ニ依リテ發スル國法ナリ法律ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ發ス議會ノ協賛ヲ經サルモノ即チ法律ニアラサル國法ヲ總括シテ命令ト云フ命令ハ法律ニ對スルモノニシテ立憲政體ニ於テ始テ命令ノ觀念アルコトハ特ニ之ヲ注意スルコトヲ要ス議會ナクンハ法律ト命令トノ區別ナシ命令ハ法律ニ對シ法律ト同シク國法ヲ定ムルモノナリ即チ實質ノ意味ニ於ケル法律ノ一部ニシテ法則ヲ定ムルモノナリ之ヲ法律ト區別スルハ唯其形式ニ依ルノミナリ議會ノ協賛ヲ經タルト否ト其制定ノ手續ヲ區別スルノミニシテ其內容實質ハ同一ナリ又法律ト命令トハ均シク天皇ノ命令ナリ之ヲ制定スル主體ハ同一ナリ其統治權ノ作用ナリ法律ハ議會ノ制定スル所ニシテ命令ハ行政ノ首長タル君主ノ制定スルモノナリト云フカ如キハ我憲法ノ主義ニアラス均シク君主ノ定ムル所ニシテ議會ノ協賛ヲ經タルモノヲ法律ト云ヒ大權ヲ以テ定メラル、モノヲ命令ト云フナリ憲法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ分類スレハ命令ハ左ノ三種ナリ

第一 憲法上ノ大權事項ヲ定ムル命令

條約ヲ締結シ官制ヲ定ムルカ如キハ憲法上ノ大權事項トシテ憲法ニ於テ天皇之ヲ親裁シテ定ムルコトヲ要件トスルモノナルコトハ前述セリ是等ノ事項ヲ定ムル命令ハ其內容ニ依リテ獨立ナル命令ノ一種ヲ爲ス其特別ナル所以ハ法律ト其規定スル範圍ヲ異ニシ立法事項ヲ定ムルコトヲ得サルト共ニ法律ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得サル事項ヲ定ムルニ在リ之ヲ大權命令ト云フハ或ハ不適當ナリ大權ヲ以テ定ムル命令ハ獨リ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ヲ定ムル命令ニ限ラス命令ハ皆大權ヲ以テ定ムルモノナリ第一種ノ命令ノ特色ハ其定ムル所ノ事項ノ內容ニ在リ

第二 法律ニ代ルヘキ命令

憲法第八條ハ天皇ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ其災厄ヲ避クルカ爲ニ臨時緊急ノ必要アルトキハ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ其協賛ヲ經スシテ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發スルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ之ヲ法律ニ代ルヘキト云フハ其形式ハ法律ニアラサルモ法律ニ代リテ法律ト同一ノ事項ヲ定ムルト云フ意味ナリ

唯法律ニ代ルモノナリ故ニ法律ノ爲シ得サルコトヲ自ラ爲スコトヲ得サルハ言フマテモナシ憲法ヲ變更スルト云フカ如キハ法律ニ代ル程度ヲ超ユルモノナリ併シナカラ法律ニ代リテ憲法上ノ立法事項ヲ定ムルコトヲ得又一タヒ法律ヲ以テ定メ法律ヲ以テセサレハ之ヲ變更シテ之ニ異ナル規定ヲ爲スコトヲ得サル事項ニ付テモ之ヲ定ムルコトヲ得之ヲ法律ニ代ルト云フナリ臨機緊急ノ場合ニ發スルモノナルカ故ニ或ハ之ヲ緊急命令トモ云フ臨機緊急ノ場合ニ憲法上法律ヲ以テセサレハ定ムルコトヲ得セル事項ヲ命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ト爲シタル第八條ノ規定ハ蓋實際ノ必要ニ基クモノナリ凡ソ國家ノ生活及人民ノ生活ハ豫メ總テノ場合ニ付テ法律ヲ以テ定ムルコトヲ得ス豫測スヘカラサル天災事變起リテ國家ノ利益人民ノ利益ノ爲ニ或ハ既存ノ法律ノ外ニ臨機ノ規定ヲ爲ス必要ヲ見ル場合起ルヘシ時恰モ議會閉會中ニシテ其協賛ヲ經ルニ途ナク必ス之ヲ以テ常規ニ依リ之ニ當ラントスレハ機會ヲ失シテ國家並ニ人民ノ利益ヲ害フ場合アラシ此場合ニ處スルカ爲ニ憲法ハ一定ノ事項ハ議會ノ協賛ヲ經テ定メサルヘカラス法律ヲ變更スルハ法律ヲ以テセサル

ヘカラストセルモ特ニ例外トシテ臨機緊急ノ場合ニハ命令ヲ以テ法律ニ代ルヘキ規定ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ定メタリ第八條ノ命令ハ斯ノ如ク臨機緊急ノ必要ノ爲ニ立法ノ常則ニ對シテ例外ヲ設クルモノナリ故ニ憲法ハ國家人民ノ利益ノ爲ニ已ムヲ得サルコトナレトモ亦其發布ノ條件ヲ嚴重ニ限定セリ即チ第一ニ緊急命令ヲ發スルハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ其災厄ヲ避クル場合ナラサルヘカラス即チ消極的ニ之ヲ發セサレハ危險ヲ防クコトヲ得サル場合ナラサルヘカラス積極的ニ臣民ノ幸福ヲ増進スルカ爲ニハ法律ニ代ルヘキ命令ヲ發スルコトヲ得サルナリ例ハ大學ヲ建ツルカ爲ニ緊急命令ヲ發スルコトヲ得ス虎列拉病ノ流行ニ際シ其危險ヲ防ク爲ニハ之ヲ發スルコトヲ得次ニ緊急勅令ヲ發スルハ議會閉會中ナラサルヘカラス閉會中トハ開會中ニアラサルノ意ナリ閉會式ヲ行ヒ閉會サレタル後ナラサルヘカラス解散後ハ閉會中ニアラスト云フカ如キハ文字ニ拘泥シタル議論ナリ議會ノ閉會中ハ唯閉會中ニテ足ル憲法第七十條ノ場合ノ如ク内外ノ事情ニ依リテ議會ヲ召集スルコト能ハサル場合ナルコトヲ要セス

議會閉會中ニ緊急命令ヲ發スルハ次ノ開會ヲ待ツコト能ハサル程ニ其必要カ
 急迫ナラサルヘカラス次ノ會期ヲ待ツコトヲ得ハ其協賛ヲ經テ之ヲ定ムルコ
 トヲ得ヘシ未タ臨時緊急ノ必要アリト爲スコトヲ得ス
 以上ノ條件具ハラサレハ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發スルヲ得ス併シナカラ其必
 要カ積極的ニ臣民ノ幸福ヲ増進スルカ爲ニスルニ在ルヤ否ヤ又其必要カ次ノ
 會期ヲ待ツコト能ハサル程ニ急迫ナリヤ否ヤハ大權ノ自由ナル認定ニ依ルナ
 リ

此勅令ハ次ノ會期ニ於テ議會ニ提出シ其承諾ヲ求メサルヘカラス若シ承諾ヲ
 得サルトキハ政府ハ緊急勅令カ將來ニ向テ其效力ヲ失フコトヲ公布セサルヘ
 カラス即チ不承諾ノ效果ハ政府カ其緊急勅令ヲ廢止スヘキ義務ヲ生スルコト
 ナリ議會ハ此勅令ヲ以テ將來存續スヘカラサルモノト見レハ之ヲ承諾セス將
 來モ尙ホ國法トシテ存續スヘキモノト見レハ承諾ヲ與フルナリ緊急勅令ヲ以
 テ議會ノ承諾ヲ請フト規定セル憲法第八條第二項ノ規定ハ法律ニ對スル議會
 ノ協賛權ヲ重シ議會ノ協賛ヲ經スシテ發セラレタル法律ニ代ルヘキ勅令ヲ法

律ト相並テ存續セシメントスルニハ議會ノ承諾ヲ要ストセシナリ是故ニ承諾
 ノ效果ハ將來ノ效力ノ存續ナリ議會ハ將來ニ之ヲ存續スヘカラストセム承諾
 セサルナリ

緊急勅令ノ沿革ヲ釋スルニ英國ニ於テ凡ソ國法ヲ變更スルハ國會ノ爲ス所ナ
 リ如何ナル場合ト雖モ國會ノ手ヲ經スシテ國法ヲ變更スルヲ得ス然レトモ實
 際ノ必要ハ必スシモ之ニ依ルコトヲ得サルカ故ニ英國ニ於テモ政府大臣ハ屢
 單獨ニ議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發シタリ併シナカラスノ
 如キハ素ヨリ憲法違反ナリ故ニ政府大臣ハ後日此憲法違反ノ行爲ニ對シテ國
 會カ責任ヲ免除センコトヲ求メ又違法ニシテ素ヨリ無効ナル命令ヲ追認シテ
 有效ナル國法トセンコトヲ求メタルナリ

斯ノ如ク英國ノ議會ノ承諾ハ我憲法ノ承諾トハ根本的ニ其性質ヲ異ニス我議
 會ノ承諾ハ若シモ之ヲ與ヘサルトキハ將來效力ヲ失フコトヲ公布スヘキ效果
 ヲ生スルナリ既往ニ遡リテ無効ノ行爲ヲ追認スルニアラス又素ヨリ憲法違反
 ノ行爲ニアラス一定ノ條件具ハレハ緊急勅令ヲ發スルコトヲ得ルハ憲法ノ認

ムル適法ノ行爲ナリ之ニ對シテ素ヨリ責任ノ免除アルコトヲ得ス之ヲ無効ノ行爲、違法ノ行爲トスレハ既往ニ遡リテ追認ノ行爲ナカルヘカラス、責任解除ノ行爲ナカルヘカラス併シナカラ之ヲ適法ノ行爲トスレハ責任ノ解除、追認ノ行爲アルコトヲ得サルモノニシテ憲法ハ明カニ承諾ハ將來ニ向テ其効力ヲ存續スヘキヤ否ヤヲ決スヘキモノトセルカ故ニ既往ニ遡テ發布當時ノ必要ヲ批評シ議會ハ發布ノ必要アリシヤ否ヤニ付キ天皇ト見解ヲ異ニスト云フヲ以テ承諾ヲ爲サ、ルコトヲ得サルナリ

惟フニ憲法ニ於テ臨時緊急ノ場合ニ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發スルコトヲ認メタルモノナレハ之ニ對スル承諾ノ制度ハ必スシモ之アルコトヲ要セサルナリ承諾ノ制度ノ立法ノ起源ハ前述ノ如シ併シナカラ唯其タケノ意味ナラハ承諾ノ制度アルコトヲ必要欲クヘカラサルコト、セス若シモ此勅令ヲ將來存續スヘカラサルモノトセハ議會ハ其固有スル法律發案權ニ依リテ其廢止ヲ試ムレハ足ル承諾ハ英國ニ於ケルカ如ク既往ニ遡テ追認ト爲リ責任解除ト爲ルニ依テ始メテ其意味ヲ有スルナリ既ニ適法ノ行爲ニシテ完全ニ國法トシテ成立セ

ルモノニ對シテ承諾ト云フトキハ誤解ヲ生センコトヲ虞レ憲法ハ特ニ此誤解ヲ防クカ爲ニ將來ノ効力ト云フト雖モ或ハ承諾ノ性質ニ付テ英國ノ制度ト同様ナリト云フカ如キ誤解ヲ惹起センコトヲ恐ル併シナカラ承諾ヲ以テ責任解除ナリ追認ナリトスルハ到底誤解ニシテ我憲法ノ主旨ニアラス是故ニ承諾ト其効力トニ關シテ行ハル、種々ノ誤解ハ之ヲ避ケサルヘカラス

斯ノ如キ誤解ノ一ハ緊急勅令ハ條件附ノ國法ナリトスルモノナリ議會ノ承諾アルマテハ完全ナル國法ニアラス議會ノ承諾ニ因リテ其生死カ定マルトスルモノナリ併シナカラ憲法ハ承諾ヲ得サルトキハ政府ハ將來ニ向テ其効力ヲ失フコトヲ公布スヘシト云フカ如キ其承諾ヲ得タルトキハ更ニ之ヲ有效完全ノ國法ナリト宣言スルコトヲ必要トセサルナリ即チ始ヨリ有效完全ノ國法ナリトセルナリ之ヲ條件附ノ國法ナリトスルモノハ又緊急勅令ハ議會ノ承諾、不承諾ノ決スル前ニ之ヲ廢止スルコトヲ得スト云フモノナリ併シナカラ既ニ有效ナル國法ナレハ之カ不用トナレハ廢止スルヲ得ルハ當然ニシテ必スシモ條件ノ成就ヲ俟ツコトヲ要セス之ニ依テ議會ノ權利ヲ害フト云フカ如キモノニア

又同一ノ誤解ハ既ニ消滅セル緊急勅令ト雖モ之ヲ議會ニ提出スヘシト云フモノナリ既ニ消滅シタルモノハ將來ニ向テ效力ヲ存續スヘキヤ否ヤヲ新ニ決スル必要ナシ又之ヲ決スルト云フハ無意味ナリ既ニ消滅セル緊急勅令ト雖モ之ヲ議會ニ提出シテ承諾ヲ求ムヘシト云フハ承諾ヲ以テ既往ニ對スル責任ノ批評ナリトスルモノナリ又議會カ承諾ヲ與ヘサルトキハ緊急勅令ハ直ニ消滅スト云フカ如キ承諾ヲ以テ無効ノ行爲ニ對スル追認ナリトスルモノナリ無効ノ行爲ハ追認ヲ得サレハ消滅ス併シナカラ緊急勅令ハ有效ノ行爲ナリ不承諾ニ因テ直ニ消滅スルモノニアラス之ヲ發シタル者カ其將來效力ヲ失ラコトヲ公布スルニ依テ消滅スルモノナリ

又或ハ緊急勅令ハ議會ノ承諾ニ依リ法律ト爲ルト云フモノアリ緊急勅令ハ條件附法律ナリ協賛ニ代ル承諾アレハ恰モ前ニ協賛アリシカ如ク法律ト爲ルト云フモノナルモ緊急勅令ハ不完全ナル法律ニアラスシテ完全ナル國法ナリ承諾ハ事後ノ協賛ニアラス唯國法トシテ將來存續スヘキヤ否ヤヲ決定ス承諾

アルハ其效力ヲ存續シ變シテ法律ト爲ルニアラス命令トシテ其效力ヲ存續ス緊急勅令ハ其内容ハ法律ニ代ルヘキモ其形ハ命令ナリ命令ノ形ヲ以テ法律ノ形ニ屬スル效力ヲ有シ法律ヲ要スル事項ヲ定ムルヲ得併シナカラ一度法律ニ代リタル後ハ自ラ其形モ亦法律ニ變シテ法律ヲ以テセサレハ之ヲ廢止スルコトヲ得サルモノト爲ルモノニアラス形ハ命令ナリ又命令ヲ以テ之ヲ廢止スルコトヲ得唯緊急勅令ヲ變更スルハ同時ニ自ラ法律ヲ要スル事項ヲ定ムルナリ其法律ヲ要スルコトハ言フマテモナシ

緊急勅令ヲ以テ條件附ノ國法ナリト云フ說ニ對シテハ今一ツノ誤解ヲ述ヘサルヘカラス開ハ緊急勅令ヲ以テ法律ヲ廢止シ而シテ後ニ其勅令カ效力ヲ失フトキハ前ノ法律ハ其效力ヲ復活スト云フ說ナリ即チ緊急勅令ハ終局的ニ其法律ヲ殺シタルモノニアラス條件附ニ殺シタルナリ其條件ヲ充サ、ルトキハ前ノ法律ハ復活スト云フナリ然レトモ緊急勅令ハ有效ニシテ完全ナル國法トシテ法律ニ代ルナリ其法律ヲ廢止スルハ固ヨリ終局的ナラサルヘカラス從テ緊急勅令カ不承諾ニ因リテ廢止セラル、モ其效力ヲ復活セサルモノナルコトハ

言フマテモナシ唯緊急勅令ノ内容ガ法律ヲ廢止スルニアラス法律ノ效力ヲ一時停止スルニ在ルトキハ緊急勅令ノ廢止ニ依リテ法律ノ效力ノ復活スルコトアルハ自ラ別論ナリ

第三 行政命令

憲法第九條ハ天皇ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ臣民ノ幸福ヲ増進スルカ爲ニ命令ヲ發シ又ハ發セシムトアリ法律ヲ執行シ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スルハ行政ノ目的ナルカ故ニ憲法第九條ノ命令ヲ總稱シテ行政命令ト云フナリ行政命令ハ行政官廳内部ノ組織ヲ定メ下級官廳ニ對スル訓令ノ如キ所謂行政規則ト異ナレリ或ハ之ヲモ行政命令ト云フカ故ニ特ニ之ヲ區別スヘキコトヲ注意ス行政官廳ノ内部ノ規則ハ又法規ヲ定ムルモノナルモ臣民ニ對シテ直接效力アル國法ニハアラス國法ノ一種タル行政命令ハ直接臣民ニ對シテ拘束力アル法規ヲ定ムルモノナラサルヘカラス行政命令ハ天皇自ラ之ヲ發シ又行政廳ヲシテ之ヲ發セシム如何ナル官廳カ如何ナル範圍ニ於テ命令ヲ發スルコトヲ得ルヤハ官廳ノ職務權限ヲ定ムル官制ニ依リテ定マル命令ヲ

發スル官廳ノ異ナルニ依リテ閣令省令府縣令郡令等ノ區別ヲ生ス憲法ヲ以テ獨リ法律ヲ執行スルカ爲メノミナラス汎ク一般行政ノ國務ノ爲ニ命令ヲ發スルノ權ヲ與ヘラレタルハ我憲法ノ著シキ特色ナリ歐洲諸國ノ憲法ニ於テハ前ニ述ヘタルカ如ク凡ソ法規ヲ定ムルハ皆國會ノ權限ナリ法律ニ依ラサレハ國法ヲ定ムルコトヲ得ス從テ行政權モ獨立ニ廣ク一般行政ノ目的ニ向テ命令ヲ發シ法規ヲ定ムルコトヲ得ルカ如キハ之ヲ認メサルナリ我憲法ハ法律モ命令モ共ニ天皇ノ定ムル所ニシテ唯數多ノ事項ヲ列記シテ斯ノ如キ事項ハ議會ノ協贊ヲ經テ法律ヲ以テ定メサルヘカラストセリ而シテ一方ニハ第九條ニ於テ天皇ノ議會ノ協贊ヲ經スシテ獨立ニ法規ヲ定ムルコトヲ得ルコトヲ認メタリ命令ト法律ノ分界ニ於テ彼ト我ト根本ノ主義ヲ異ニスルナリ彼ニ在リテハ斯ノ如ク絶對的ニ凡ソ法規ヲ定ムルハ立法權即チ國會ノ權能ナリトスルカ故ニ實際ノ行政ニ於テハ甚シキ不便ヲ感セサルコトヲ得ス變更極マリナキ行政ノ事項ニ付テ豫メ悉ク法規ヲ以テ之ヲ定メ置クコトハ事實上不能ナリ少ナクトモ不利益ナリ故ニ原則トシテ法規ヲ定ムルハ皆議會ノ職權ヲ以テスヘキコト

カ憲法ニ於テ定メラル、モ各地方ノ事情ニ依テ特別ナル規則ヲ設クルカ如キ
 コトハ舊來ノ慣行ニ依リテ之ヲ認メタリ又學說及立法例ニ於テ凡ソ法則ヲ定
 ムルニハ法律ニ依ラサルヘカラサルモ警察ノ目的ノ爲ニハ行政權カ獨立ニ法
 規ヲ定ムルコトヲ得ルトスル者多シ或ハ又之ヲ以テ立法權ノ行政權ニ對スル
 一般ノ委任ナリト見ル者アリ即チ國會ハ總テ法則ヲ定ムル權能ヲ有スルモ實
 際上不便ナルカ故ニ之ヲ行政權ニ委任スルト云フナリ委任ト云フハ私法上自
 己ニ屬スル權利ヲ他人ヲシテ代リテ行ハシムル方法ナリ之ヲ公法ノ關係殊ニ
 共ニ權利ノ主體ニアラサル主體ト行政權トノ間ニ應用スルコトヲ得ルヤ否ヤ
 ハ甚タ疑ハシ併シナカラ歐洲ノ學者ハ此立法權ノ委任ヲ認メ又ハ少ナクトモ
 箇々ノ特定ノ事項ニ付テハ立法權ハ之ヲ定ムルコトヲ特別ノ意思表示ヲ以テ
 行政權ニ委任スルコトヲ得ト云フナリ惟フニ斯ノ如キ委任命令ノ學說及立法
 例ハ絶對的ニ立法權ノ範圍ヲ定メタルカ爲ニ生シタル甚シキ窮蹙ヲ救フカ爲
 ニ已ムヲ得サル逃道ナリ我憲法ハ豫メ之ヲ想像シテ天皇ノ廣キ行政命令ノ權
 ヲ認メタリ法律ヲ執行スル爲メノミナラス又公共ノ安寧秩序ヲ保持スル警察

ノ目的ノ爲ニ又更ニ臣民ノ幸福ヲ増進スル積極的ノ目的ノ爲ニ命令ヲ以テ法
 規ヲ定ムルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ然ルニ我國ニ於テモ尙ホ立法權ノ委任ト
 云フコト實際ニ行ハレ學者モ亦之ヲ主張スル者アリ後ニ法律命令ノ關係ヲ論
 スルニ當リ其當否ヲ述ヘント欲ス

法律ト命令トノ區別ハ議會ノ協賛ヲ經テ定メラル、ト否トニ在ルコトハ前ニ之
 ヲ述ヘタリ併シナカラ命令ト一言ニ云フモ其法律ニ對スル關係ハ種々異ナルモ
 ノアリ之ヲ區別セサルヘカラス其内容異ナルニ因リテ其發布ノ條件異ナルニ依
 リ自ラ法律トノ關係ヲモ異ニス之ヲ右ニ述ヘタル三種ノ命令ニ付キ區別シテ説
 明セントス

第一 憲法上ノ大權事項ヲ定ムル命令ハ法律ト全ク其規定スル内容タル事項ノ
 範圍ヲ異ニスルモノナリ此種ノ命令ト法律トハ其支配スル領域ヲ異ニス互ニ
 相侵サス從テ法律トシテ又命令トシテ形式ニ於テ優劣ノ問題起ルコトナシ事
 項既ニ互ニ相侵スコトヲ得テ法律ヲ以テ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ヲ定ムル
 コトヲ得ス又反對ニ此種ノ命令ヲ以テ立法事項ヲ定ムルコトヲ得ス一例ヲ舉

テ此種ノ命令ト法律ト相侵サ、ルコトヲ示セハ凡ソ官制ノ定ムルモノハ大權ニ屬スル事項ナリ然ルニ法律ハ屢一定ノ事項ヲ一定ノ官廳ヲシテ行ハシムルコトアリ併シナカラスノ如キ法律ノ規定ハ自ラ官制ヲ定メントスルモノニハアラス故ニ爾後大權ヲ以テ官制ヲ改メテ其官廳ヲ廢シ權限ノ分配ヲ改ムト雖モ法律ヲ侵スモノニハアラス

第二 憲法第八條ノ緊急命令ハ固ヨリ法律ニ代ルヘキ命令ナリ法律ニ代ルヘキト云フハ法律ト同一ノ事項ヲ定メ法律ヲ廢止變更スル力アリト云フコトナリ此種ノ勅令ノ法律ヲ廢止變更スルコトヲ得ルハ其本來ノ目的ナリ此種ノ勅令ハ又法律ヲ以テ法律ヲ廢止變更スルコトヲ得併シナカラ緊急勅令ハ未タ法律ニアラサルカ故ニ之ヲ廢止スルニハ必ス法律ヲ以テセサルヘカラスト云フニアラサルコトハ前ニ之ヲ述ヘタリ

第三 行政命令ハ一般行政ノ目的ノ爲ニ發スルモノナリ其内容ハ大權ニ屬スル事項ノ如ク獨リ命令ヲ以テノミ定メ得ル事項ニハアラス又緊急命令ノ如ク獨リ法律ヲ以テ定メ得ル事項ニモアラス憲法ハ命令ヲ以テ是等ノ事項ヲ定メ得

ルコトヲ定ムルノミニシテ又固ヨリ法律ヲ以テモ之ヲ定メ得ルナリ即チ此範圍ハ法律ト命令ト共同ノ領分ニシテ法律命令交互同一ノ事項ヲ定ムルコトヲ得ル範圍ナリ既ニ内容同一ナレハ而シテ同一ノ事項ニ付テ二様ノ國法ノ定メアルコトヲ得サル以上ハ命令カ強キカ法律カ強キカ之ヲ定ムル標準ナカルヘカラス法律ヲ執行スル命令ノ法律ヨリモ力ノ弱キコトハ其性質ノ當然ノ結果ナリ法律アリテ始テ之ヲ執行スル命令アリ之ヲ執行スル命令ヲ以テ法律ヲ改正スルコトヲ得サルハ言ヲ竣タス又法律ヲ以テ之ヲ執行スル命令ヲ廢止變更スルコトヲ得ルモ當然ノコトニ屬ス其他ノ行政命令ニ付テハ法學一般ノ原則ニ依リテ後ノ法ハ前ノ法ヲ以テ廢止變更スルトスレハ後ニ出テタル命令ハ前ノ法律ヲ廢止變更スルコトヲ得ル譯ナリ併シナカラ其ハ憲法ノ主意ヨリ見レハ甚タ不當ナリト云ハサルヘカラス法律ハ議會ノ協贊ト云フ叮嚀ナル手續ヲ經テ定メラレタル國法ナリ然ルニ後ニ此手續ヲ經シテ命令ヲ以テ恣ニ之ヲ廢止變更スルコトヲ得ルトスレハ特ニ憲法ヲ以テ議會ヲ設ケラレタル主意ノ一半ハ沒却セラレントス故ニ憲法第九條ハ法律ト命令トノ優劣ヲ定メテ命令

ヲ以テ法律ヲ廢止變更スルコトヲ得スト定メタリ之ヲ法律ノ形式的效力ト云フ法律ノ形式ニ屬スル效力ナレハナリ法律ノ形式的效力ハ其命令ヲ廢止變更スルコトヲ得ルカ故ナリ又法律ハ法律ヲ以テスルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス命令ヲ以テ變更スルコトヲ得サルコトナリ斯ノ如クナルカ故ニ行政命令ノ限界ハ憲法上ノ立法事項ニ依リテ定マリ又法律ノ既ニ先占シタル範圍ニ依リテ限ラル或ハ之ヲ形式的ノ立法事項トモ名クヘキカ通常一般ニ命令ハ斯ノ如キ消極的ノ限界ヲ有スト云フモ开ハ精密ニアラスト云ハサルヘカラス何トナレハ憲法上ノ大權事項ヲ定ムル命令ハ立法事項トハ全ク無關係ナリ大權事項ノ外ニ出テ、法律ト其效力ヲ競合スル場合アルコトナシ又緊急命令ハ固ヨリ法律ヲ廢止變更スルモノナリ自ラ立法事項ヲ定メ又法律ノ定メタル事項ヲ變更シテ自ラ之ヲ定ムルモノナリ法律ノ命令ニ對シテ限界ヲ爲スハ行政命令ニ對スルモノナリ斯ノ如キ行政命令ニ對スル限界ハ憲法ノ定ムル所ナリ此憲法ノ定ムル限界ヲ法律又ハ命令ヲ以テ恣ニ動カスコトヲ得サルハ明ナルコトナリ唯歐洲諸國ニ於テハ法律ヲ以テ最高ナリトシ法律ノ變更ニ依リテ憲法

ノ變更セラル、コトアルヲ認メタル從テ又法律ヲ以テ此命令權ノ限界ヲ伸縮スルコトヲ爲シ能フコトヲ認メラル前ニ述ヘタルカ如ク總テ法律ヲ定ムルハ國會ノ議決ヲ經タル法律ヲ以テスヘシト爲セルカ故ニ實際ニ於テ甚ク不便ナリ是ニ於テ委任命令ノ說アリテ憲法上立法權ノ範圍ニ屬スル事項ト雖モ法律自ラ之ヲ命令權ニ委任スルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ト云フナリ若シ法律ハ憲法ト同等ナリトセハ或ハ斯ノ如キ理窟ハ立チ得ルナランモ法律ヲ以テ憲法ノ規定ヲ動カスハ帝國憲法ノ許サ、ル所ニシテ學者ノ委任命令說ヲ聞クニ或ハ曰ク憲法ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシト云フノミ法律ハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ定ムヘキカト云フコトハ之ヲ云ハス法律カ自ラ之ヲ總テ定ムルモ法律ヲ以テ定ムル一ノ方法ナリ命令ヲ以テ之ヲ定メシムルモ亦法律ヲ以テ之ヲ定ムル一ノ方法ナリ委任命令ハ均シク法律ノ内容ヲ成スモノニシテ自ラ法律ヲ以テ定ムルニ異ナル所ナシト云フヘク假ニ憲法ハ法律ヲ以テ定ムル方法ヲ指定セストスルモ其力爲メ如何ナル方法ニ於テスルモ之ヲ定ムルコトヲ得ヘシトスルモ命令ヲ以テ定メシムルコトハ少ナクトモ不當ナリ憲法ノ法

律ヲ以テスヘシト云フ意味ハ議會ノ協賛ヲ以テ之ヲ定ムヘシト云フニ外ナラ
 ス議會ノ協賛ヲ以テ之ヲ定ムヘシト云フハ議會ノ協賛ヲ經スシテハ之ヲ定ム
 ルコトヲ得スト云フニ外ナラス即チ命令ヲ以テ定ムルコトヲ得スト云フニ在
 リ去レハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシト云フハ直接ニ命令ヲ以テ定ムルコトヲ禁
 スル規定ナリ法律ハ如何ナル方法ヲ以テモ之ヲ定ムルコトヲ得ルトスルモ命
 令ヲ以テ之ヲ定メシムルハ即チ直接ニ憲法ノ規定ニ違反スルモノナリ委任命
 令ヲ認メテ命令ヲ以テ立法事項ヲ定メ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得ト
 云フコトヲ法律ニ依リ定ムルコトヲ得トスルハ法律ヲ以テ憲法ノ規定ヲ紊ル
 モノナリ法律ヲ以テ憲法カ國會ヲ設クル主意ヲ沒却セントスルモノナリ此說
 ハ到底維持スルコトヲ得ス

第五章 條約

條約ハ國ト國トノ約束ナリ條約ヲ締結スルハ天皇ノ大權ニ屬ス條約ノ締結ハ批
 准ニ依ル批准ニ依ル條約ノ締結ハ臣民ニ對スル命令ニアラス國際法ハ對當ナル
 モノ、間ノ關係法規ニシテ統治權ハ命令ノ權ナリトセハ統治權ノ作用ニ屬スル

條約

モノニアラス國際法ハ國內法トハ別種ノ法系ニ屬ス憲法ハ何人カ條約ヲ締結ス
 ルカヲ定ム我憲法ニ於テハ主權者タル天皇之ヲ締結スルモノニシテ其締結ノ權
 ハ無制限ニシテ全部天皇ニ屬ストセラル國ニ依リテハ條約ノ締結ニハ國會ノ同
 意ヲ要スト云フモノアリ我憲法ノ採ラサル所ナリ條約ノ内容ハ種々アリ國ト國
 トノ約束タル條約ハ對等者間ノ法則タル國際法ニ依リテ國家ニ或事ヲ爲シ又ハ
 爲サ、ルノ義務ヲ生ス併シナカラ對等者間ノ約束義務ハ國際法上ノ義務ニシテ
 國內關係ハ之ニ依リテ少シモ影響セラル、コトナシ條約ハ内ニ對シテ何等ノ法
 律上ノ效果ヲ生スルモノニアラサルナリ

條約ハ國際間ニ於ケル對等者間ノ約束ニシテ之ニ依リテ國家ハ唯國家トシテ外
 ニ對シテ即チ他ノ國家ニ對シテ義務ヲ負フモノナリ之ニ依リテ國內ニ於テ臣民
 及國家ノ諸機關ハ何等ノ義務ヲ負フモノニアラス國際法ハ法ナリヤ否ヤ條約
 ハ之ニ依リテ法律上ノ義務ヲ生スルヤ否ヤハ既ニ疑問ナリ又以テ國際法上ノ約
 束カ國內法ノ關係ト相交渉スルモノナキヤヲ知ルニ足ル假ニ之ヲ法ナリトスル
 モ凡ソ人格者ノ約束ハ之ヲ締結シタル當事者ニ對シテノミ義務ヲ生シ拘束ヲ生

憲法 統治ノ作用 條約

スルモノニシテ契約以外ノ第三者ニ對シテハ何等ノ效力ヲモ生スルモノニアラス或學者ハ條約ニ依リテ國家ハ一定ノ義務ヲ負フ以上ハ國家ヲ組織スル分子タル人民ハ亦當然條約ノ命スル義務ヲ負ハサルヘカラスト云フト雖モ國家ヲ以テ人民ノ團體タル法人ナリトスルモ法人ノ義務ハ當然其組織分子ノ義務ニアラス或株式會社カ物品ヲ買入レ代價支拂ノ義務ヲ負フモ之ニ依リテ株主ハ亦同時ニ其義務ヲ負フモノニアラス一ノ株式會社ヲ法人人格ナリト云フハ之ヲ獨立ニ權利義務ノ主格トシ之ヲ組織スル各員ノ權利義務ト區別スル意味ヲ有ス條約ニ於テモ斯ノ如シ日本ハ英國ト攻守同盟ノ約束ヲ爲スモ吾々臣民ハ之ニ因リ當然如何ナル義務ヲモ負フモノニアラス國家ハ秘密條約ヲ結フコトモアラン臣民ハ之ヲ知ルコトスラナシ米國ニ對シテ我國ハ移民ヲ禁スル條約ヲ結フモ之ニ因リテ臣民ハ米國ニ渡航スヘカラサル義務ヲ有スルコトナシ要スルニ條約ハ國ト國トノ約束ニシテ内ニ對シテハ何等ノ效力ナキヲ其性質トス併シナカラ國家ハ條約ノ内容ニ依リテハ之ヲ實行スルカ爲ニ國內ニ對シテ一定ノ作用ヲ爲サ、ルヘカラサルコトアリ今例ニ舉ゲシ如キ移民ノ禁止ヲ外國ニ對シ約束スルトキハ之ヲ

實行セントセハ我國ハ臣民ノ米國ニ渡航スルヲ禁止セサルヘカラス支那カ外國ニ對シテ内部ノ行政制度ヲ改革スルコトヲ約束スレハ其約束ヲ履行スルニハ實際國內ニ於テ行政ノ改革ヲ爲サ、ルヘカラス鐵道敷設ヲ約束スレハ實際鐵道ヲ敷キ之カ爲ニ費用ノ支出ヲ爲サ、ルヘカラス併シナカラ條約ハ唯條約トシテハ國家ノ外ニ對スル義務ヲ生スルノミナルカ故ニ之カ爲ニ臣民ノ行動ヲ制限シ國家ノ機關ヲシテ或事ヲ爲サシメントスルニハ國家ハ之ヲ國內ニ於テ臣民ニ對シ又國家ノ諸機關ニ對シ命令セサルヘカラス然ラサレハ國家ノ内部ニ於テハ條約ハ何等ノ効ヲモ爲サス若シモ條約ノ内容ヲ實行スルカ爲メ費用ノ支出ヲ必要トスルトキハ凡ソ國家ノ歳出ハ豫算ニ依リテ定ムルコトヲ要シ豫算ハ議會ノ協賛ヲ經テ定ムルコトヲ要スルカ爲ニ議會ノ協賛ヲ經テ費用ノ支出ヲ爲サ、ルヘカラス若シモ國法ヲ制定シテ例ハ臣民ノ米國ニ移住スルコトヲ禁スルコトカ必要ナリトセハ國法ヲ制定シテ之ヲ禁セサルヘカラス是恰モ居住及移轉ノ自由ノ如キ憲法上法律ヲ以テ定ムヘキ事項ナレハ議會ノ協賛ヲ經テ定メサルヘカラス之ニ依テ始テ臣民ハ一定ノ義務ヲ負ヒ國家ハ條約ニ依リテ約束シタルコトヲ履行

スルヲ得ルナリ
 之ヲ條約ノ外ニ向テノ效力即チ國際法上ノ效力ハ天皇ノ批准ニ依リテ生シ内ニ
 向テノ效力即チ國法上ノ效力ハ其事柄カ立法事項ナレハ議會ノ協賛ニ因リテ生
 スト云フカ如クニ區別シテ説明スル者アレトモ誤解ヲ生スル虞アリ何トナレハ
 條約ハ國ト國トノ約束ナリ外ニ向テノ國際法上ノ效力ハアレトモ内ニ向テノ國
 法上ノ效力ハナシ臣民カ一定ノ義務ヲ負フハ條約ノ内ニ向テノ效力ニアラス國
 法ノ效力ナリ或學者ハ條約ニハ國際法上ノ效力ナシト云フ者アリ之ハ條約ヲ以
 テ法ニアラス道德ナリトシ從テ天皇ノ批准カ效力アル法律上ノ行為タル以上ハ
 内ニ對シテ臣民ニ向ヒ命令ノ行為ナラサルヘカラスト云フナリ其説ハ甚ク面白
 ケレトモ條約ヲ以テ國ト國トノ約束タルコトヲ認メ批准カ條約ヲ締結スル働チ
 リト認メテレタル以上ハ此説ニ依ルコトヲ得ス
 又條約ノ内容ヲ國內ニ命令セントスルトキハ法律ヲ制定スルコトヲ要シ之カ爲
 ニ議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要スルモ之カ爲ニ條約ハ批准ニ依リテ完全ニ成立ス
 ルニアラス議會ノ協賛ヲ以テ其成立ノ條件トスルモノナリト云フカ如ク考フヘ

カラス外國ノ憲法ニハ或種類ノ條約ハ議會ノ協賛ヲ以テ成立ノ要件トスト定ム
 ルアリ我憲法ハ之ト異ナリ條約ノ締結ハ皆天皇ノ大權ニ屬ストセリ内ニ對シテ
 之ヲ實行スルニハ或ハ議會ノ協賛ヲ經ル場合アレトモ其ハ條約ノ效力條約ノ成
 立トハ全ク無關係ナリ條約ハ批准ニ依リ完全ニ成立スルモノナリ併シナカラス
 ノ如クナレハ國家ハ一切不便困難ニ陥ラサルヘカラス例ハ外國ニ對シテ鐵道ヲ
 敷クコトヲ約束シタルニ議會ハ其費用ノ支出ニ協賛ヲ與ヘスト云フカ如キ場合
 ニハ外國ニ對シテ約束不履行ノ結果ト爲ラサルヘカラス外國ニ對シテ移民ヲ禁
 止スルコトヲ約束セシニ之ヲ命スル法律成立セス國家ハ條約ニ依リテ生シタル
 義務ヲ履行スルヲ得サルナリ今述ヘシ憲法ノ例ノ如ク條約ノ締結ニハ議會ノ同
 意ヲ必要トスレハ斯ノ如キ不便ハ或ハ起ラサルヘシ然ラサレハ條約ト國內ニ於
 ケル法律ト相調和セスト云フカ如キ困難ノ屢起ルコトハ之ヲ豫期セサルヘカラ
 ズ此困難ヲ救フカ爲ニハ君主ハ條約ヲ締結スル場合ニ豫メ法律トスヘキ事柄ヲ
 議會ハ協賛ヲ經テ置クト云フカ如キ又ハ議會ハ必ス條約ノ内容タル法律ニ協賛
 セサルヘカラストスルノ外ナシ或人ニリテ條約ニ依リテ締結シタルコトハ

憲法 統治ノ作用 條約

議會ハ必ス協賛ヲ與フル義務アリト云ヘリ併シナカラ條約ニハ斯ノ如キ國內的ノ效力ナシ即チ法律ヲ作り然ル後條約ヲ締結スヘシト云フハ唯道德上又ハ便宜上其カ適當ナリト云フノミニシテ君主ニ法律上斯ノ如キ義務アリトスルヲ得ス條約ハ夫自身臣民ニ對シ效力アル命令ニアラサルカ故ニ總テ之ヲ臣民ニ對シテ公布スルコトヲ必要トセス又祕密條約ト雖モ條約ナリ條約ハ之ヲ公布スルモ之ニ依リテ命令タルノ效力ヲ生セス公式令ハ條約トシテ之ヲ公布スルコトヲ定ム之ヲ臣民ニ對シテ命セントスルニハ命令トシテ公布セサルヘカラス法律ヲ要スル事項ナレハ議會ノ協賛ヲ經テ法律トシテ公布セサルヘカラス

豫算

第六章 豫算

議會ノ豫算ヲ議定スル權能ハ既ニ之ヲ述ヘタリ今ハ統治ノ作用ノ一形式トシテ豫算ニ付キ述ヘン
豫算ハ收入支出ノ見積計算書ナリ吾々ノ會計ニモ豫算ノ見積計算ヲ立ツルハ至極便利ナリ大ナル會計ニ於テハ見積計算ナケレハ收入支出ハ不能ナリ收支ノ適合ヲ明ニシ濫費ヲ防クコトヲ得ス國家カ豫算ヲ定メ收入支出スルモ之ト同一理由

ニシテ豫算ハ收入支出ノ見積書ナリ是故ニ豫算ハ立法ニアラス又司法ニモアラズ純粹ニ行政ニ屬スル働ナリ歐洲諸國ノ憲法ニハ議會ノ爲ス所ヲ以テ總テ立法ト云ヒ豫算モ亦立法作用ナリ法律ナリト云ヘリ學者カ豫算ヲ法律ナリト云フハ唯形式的ノ意味ニシテ實質ノ意味ニアラスト云ヘリ我國ニ於テモ實質形式ニ於テ又法律ニアラス法則ヲ定ムルニアラス又之ヲ以テ法律ヲ變更シ得ルモノニモアラス併シナカラ政府ハ定マレル豫算ニ準據シテ支出セサルヘカラス豫算ヲ定ムルノ趣旨ハ茲ニ在リ然レトモ豫算ノ斯ノ如キ拘束力ヲ發生スルハ豫算カ法則ナル故ニアラス別ニ法律ヲ以テ凡ソ收入支出ハ豫算ニ依ラサルヘカラスト云フコトカ定メラレタリ會計ノ見積計算ヲ無視セス之ニ從テ收入支出セサルヘカラスト云フハ會計法ニ依リテ命セラレタル義務ナリ會計法ノ效力ニシテ豫算ノ法則タルカ故ニアラス歐洲ノ立憲國ニ於テハ或ハ豫算ハ議會ノ財政ヲ爲ス全權ヲ政府ニ委任スル形式ナリト云フモノアリ若シモ議會ヲ以テ立法者ナリトスレハ斯ノ如キ委任ノ形式モ必要ナルヘシ併シナカラ我憲法ニ於テ議會ハ自ラ行政權ヲ有セス有セサルモノヲ他ニ委任シ全權ヲ與フルコトヲ得ス又議會ハ豫算ニ依

憲法 統治ノ作用 豫算

リテ政府ハ之ニ從テ收入支出スルコトヲ訓令スルモノニアラス議會ハ政府ノ上級官廳ニハアラス

豫算ハ政府カ會計ヲ爲スノ條件ナリト云フモノアリ之ニ依リテ收入支出セサルヘカラサルコトヲ條件ナリト云ハ、然リ併シナカラ議會ノ豫算ヲ定ムルコトカ政府ノ收入支出ノ權能ノ源ナリト云フモノトセハ誤ナリト云ハサルヘカラス政府カ收入支出スルハ議會ノ訓令ニ依ルニアラス議會ヨリ其權能ヲ與ヘラルハニモアラス天皇ノ訓令ニ依ルナリ豫算ヲ定ムルハ天皇ナリ唯議會ハ天皇ノ豫算ヲ定ムルコトヲ協贊スルノミ故ニ豫算ハ議會ノ協贊ノミヲ以テ成立スルニアラス天皇カ之ヲ豫算ナリト定ムルニ依リ即チ裁可ニ依リ豫算トシテ收入支出ノ標準タル效力ヲ生スルナリ

豫算ハ毎年之ヲ定メサルヘカラス數年ニ涉リ豫算ヲ定ムルハ憲法ノ認メサル所ナリ唯其例外ヲナスモノハ繼續費ナリ而シテ豫算ノ效力ハ一年ヲ限トス一年トハ一會計年度ノ意味ニシテ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ルマテ一年トスルコト會計法ニ定メラル

憲法ニ其年度ノ豫算カ成立セサルトキハ前年度ノ豫算ヲ行フ旨ヲ定ム之ハ豫算カ一年限效力ヲ有スルコトノ例外ヲナスモノニアラス前年度ノ豫算カ今年度ノ豫算ニ效力アルニアラス前年度ノ豫算ヲ其儘ニ今年度ノ豫算トシテ效力アルナリ

豫算ハ年度毎ニ定ムルヲ要シ年度既ニ經過スレハ豫算ナシ豫算ハ一切ノ國家ノ歳入歳出ヲ包括スルヲ原則トス如何ナル歳入ト雖モ例ヘハ永久ニ涉ル租税ノ收入ト雖モ之ヲ豫算表ニ掲ケサルヘカラス

一切ノ歳入歳出ヲ纏メテ一ノ豫算トスルコトハ收入支出ノ計算ヲ示ス爲メ必要ナリ豫算ヲ定ムルノ精神上然ラサルヘカラス會計法ハ豫算ノ編成後ニ新ニ生シタル必要アルトキハ追加豫算ヲ定ムルコトヲ得トセリ併シナカラ追加豫算ハ豫算ヲ追加スルモノニシテ之ト合シテ一ノ豫算ヲ成スナリ獨立ノ追加豫算ニアラス特別豫算ナルコトアリ是會計ノ取扱上ノ意味ヲ有スルモノニシテ又總豫算ノ一部ニ過キス

豫算ハ財政ノ見積計算ナリ單純ノ見積計算ナリ固ヨリ實際ノ收入支出ヲ確定ス

憲法 統治ノ作用 豫算

ルモノニハアラス數額ノ上ニ於テ人ノ自由意思ニ基カサル實際ノ増減アルコトハ固ヨリ免レヌ其項目ニ付テモ豫算ニ掲ケサル收入アルコトヲ妨ケス例ハ突然或人カ學校設立ノ爲メ國家ニ寄附金ヲ爲シ又ハ豫算ニ掲ケス又法律ノ結果ニ依リテ當然入り來ル收入ハ縱令豫算表ニ掲ケサルモ入り來ルナリ租税法ニ定ムル租稅ハ政府カ之ヲ徵收セサレハ義務ノ怠慢ナリ又豫算ニ掲ケタル收入ト雖モ之ヲ爲サ、ル場合アリ官有土地ノ拂下モ經濟上ノ時機宜シカラサレハ之ヲ爲サ、ル場合アリ公債ノ募集ヲ爲サ、ル場合アリ支出ニ付テ豫算ニ定ムル金額ハ支出シ得ル最大額ヲ示スモノナリ其以下ヲ支出スルニ差支ナシ唯之カ爲メ法律ヲ執行セスト云フカ如キ結果ヲ生スレハ政府ノ怠慢ナリ豫算ノ金額ヲ悉ク使用セサル爲メ生セシ剩餘ハ政府ハ恣ニ之ヲ他ノ事柄ニ流用スルヲ得ス剩餘ハ剩餘金トシテ次年度ノ收入トス

豫算ニ定マル目的ハ之ニ從ハサルヘカラス豫算ノ款項ノ間其金額ヲ互ニ流用スルコトヲ得ス併シナカラ實際ノ行政ハ或ハ豫算ニ定マル以上ノ金額ヲ要シ或ハ豫算ニ定メタル以外ニ費用ヲ要スル場合アリ之ヲ爲シ得ルコトモ憲法ノ認ムル

所ナリ唯豫算超過ノ支出豫算外ノ支出ハ後ニ議會ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス豫算カ議會ノ協賛ヲ得サル場合豫算決定前ニ議會カ解散セリト云フカ如キ場合ニハ議會ノ協賛ヲ經タル豫算アルコトヲ得ス若シモ豫算ヲ以テ財政ノ全權ヲ與フルモノナリ財政ノ委任ナリトスレハ此場合ニハ政府ハ何等ノ支出ヲモ爲シ得サルノ譯合ナリ憲法ハ凡ソ國家ノ歳入歳出ハ豫算ヲ以テ議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ストスレトモ豫算不成立ノ場合ニハ政府ハ何等ノ支出ヲモ爲シ得サルモノニアラス豫算ナキヲ以テ國家ノ活動ヲ停止スルヲ得ス併シナカラ憲法ハ此場合ニモ豫算アルコトヲ欲シテ此場合ニハ前年度ノ豫算ヲ行フト定ム前年度ト今年度トハ事情モ左程ノ變化ナク之ヲ施行スルモ大ナル差支ナキカ故ナリ之ニ依リテ豫算ナク收入支出スルコト無カラシメ又一方ニハ議會カ豫算ヲ議決セスシテ徒ニ政府ヲ窮地ニ陥ル、ヲ防クナリ

第七章 司法權

司法權ハ裁判ヲ爲ス國權ノ作用ナリ裁判トハ特定ノ場合ニ對シ法規ヲ權力ヲ以テ適用スル國權ノ命令行爲ナリ

憲法 統治ノ作用 司法權

斯ノ如ク裁判ノ行爲ハ種々ノ法域ニ於テ存在ス國際法上ニモ裁判所ノ如キアリ
 開ハ姑ク措キ國法上ノ裁判ニハ民法上ノ裁判アリ刑法上ノ裁判アリ又行政裁判
 官吏懲戒ノ裁判ノ如キアリ民法上及刑法上ノ裁判ハ一般臣民ノ法規違反ニ對ス
 ルモノニシテ國權ニ服從スル統治ノ作用ノ表示ナリ行政裁判官吏懲戒ノ裁判ノ
 如キハ之ヲ概括シテ國法上ノ裁判ト云フ私人ニ依ル法規違反ニ對スルモノニア
 ラスシテ國家權力ノ機關ニ依ル行爲ニ對スル法律上ノ監督ノ作用ナリ一般統治
 ノ作用ノ現ハレタルモノニアラス國權ノ機關相互ノ間及國權ニ服從スル特別ノ
 關係ヨリ生スルナリ裁判ノ此二種類ヲ區別スルハ立憲政體ノ主義ノ上ニ必要ナ
 ルコトニシテ憲法ニ司法權ハ裁判所ニ依リ之ヲ行フトアルハ民事刑事ノ事件ノ
 裁判ノ意味ナリ所謂國法上ノ裁判ハ立憲政體ノ出來上リシ後發生シタルモノニ
 シテ立憲政體創始ノ時ニ在リテハ裁判ト云ヘハ民事刑事ノ裁判ナリ獨立ノ裁判
 所ニ依リ行ハル、コトカ主張セラレタルハ民事刑事ノ裁判ナリシナリ我憲法ニ
 於テ司法權ト云フモ文字通りニ總テノ裁判ヲ意味スルニアラスシテ普通裁判ノ
 事件即チ民事刑事ノ裁判ヲ指稱ス

民事事件ハ何ナリヤ私法上ノ裁判ト云フカ如キナリ私人相互ノ間ノ權利ノ侵害
 ニ對スル救済ナリ私法ハ公法ニ對シ其區別ノ標準ハ既ニ之ヲ述ヘタリ
 近來諸國ニ於テ私法ヲ纏メテ法典ニ編纂セリ我國ニモ民法商法ノ如キ法典アリ
 民事事件トハ主トシテ民法商法ニ關スル事件ナリ
 刑事事件ハ公法ノ區域ニ屬ス併シナカラ行政裁判官吏懲戒ノ裁判ト區別シ私人
 ノ法規違反ニ對スルモノナリ何ヲ刑事事件トスルカハ國法ニ依リテ定マル國法
 ニ依リテ犯罪ト定メタル行爲ニ對シテ法ヲ適用シテ刑罰ヲ科スル作用ハ刑事ノ
 裁判ナリ犯罪ハ刑法及特別法ニ於テ之ヲ定ム
 憲法ハ此二種類ノ事件ニ關スル裁判ハ必ス裁判所ニ依リテ行ハサルヘカラサル
 コトヲ定ム併シナカラ法律ヲ以テ裁判所ヲシテ此以外ノ權限ヲ有スルコトヲ得
 セシムルハ必スシモ憲法ノ禁止スル所ニアラス裁判所構成法ハ裁判所ハ民事刑
 事ノ裁判事件ノ外例ハ後見人ノ監督、不動産上ノ權利ノ登記ト云フカ如キ各人ノ
 權利狀態ノ保護ノ爲ニスルモノニシテ性質上裁判ニアラス行政ニ屬スヘキ働ヲ
 モ管轄スルコトヲ定ム是等ノ事件ハ訴訟事件ト區別スル爲メ之ヲ非訟事件ト稱

ス
 裁判トハ何ナリヤ如何ナル國權ノ行使ノ形式ナリヤ争ヲ決スルト云フコトハ必
 スシモ裁判判決ノ要素ニアラス裁判ニシテ原告モ被告モ共ニ之ヲ認メテ争ハサ
 ル場合アリ確認ノ訴訟ノ如キハ争ノ決定ニハアラス又争アレハ必ス裁判アリト
 云フコトヲ得ス和解ハ裁判ニアラス
 行政ノ區域ニ於テモ例ハ漁業權ノ争ヲ決定スルト云フカ如キ争ノ決定タル場合
 アリ裁判タルノ要素ハ其事件ノ當事者カ訴訟ノ手續ニ參與スルト云フコトニ在
 リト云フモ必スシモ裁判ノ性質ヲ盡スモノニハアラス行政ノ働ニ付テモ利害關
 係人カ當事者トシテ權利トシテ其事ノ審理ニ參與スル場合アリ訴訟手續ニ於テ
 當事者ノ參與ヲ必要ト定メタレトモ之ヲ以テ裁判ノ要素トスル故ニアラス裁判
 ノ公正ヲ保チ其争點ヲ明ニスルト云フ目的ニ出ツルモノナラント考フルナリ裁
 判ハ法ノ適用ナリ特定ノ事件ニ對シ何カ法ノ規定ナルカ抽象的ノ法ヲ論理ノ方
 法ニ依リテ解釋シ具體的ノ法ヲ定ムルナリ
 抑民事裁判ノ目的ハ當事者タル臣民ニ權利保護ノ手段ヲ與フルコトニ在リ國家

ハ私人カ相互ニ民法ニ定ムルト同一ノ契約ヲ爲サ、ルヘカラサルコトヲ要求ス
 ルモノニアラス又私人カ契約シタル所ヲ履行セストモ國家ハ之ニ干涉スルコト
 ヲ欲スルモノニアラス併シナカラ國家ハ私人カ他ノ私人ニ對シテ義務ヲ履行セ
 サル場合ニ相手方自ラカヲ用ヒ之ヲ強制シテ履行セシムルコトヲ公ノ秩序ヲ保
 ツ必要上禁止シタルナリ故ニ國家ハ此權利ヲ實行セシムル手段ヲ與ヘサルヘカ
 ラス民事裁判ノ目的ハ自助ノ手段ニ代ヘテ權力ヲ以テ其權利ノ救助ヲ受クルコ
 トヲ完全ナラシムルニ在リ之ヲ爲サントスレハ國家ハ果シテ何レカ權利者ナリ
 ヤト云フコトヲ決定セサルヘカラス國家ハ權力ヲ以テ國家ノ解釋ヲ決定シ之ニ
 依リテ私人ニ法律ノ義務ヲ履行スルコトヲ命スルナリ刑事裁判ハ國家ノ有スル
 刑罰權ノ實行ナリ刑罰權ハ統治權ノ一ノ作用ナリ唯之ヲ實行スルニ付キ裁判ト
 云フ方法ヲ通シテ臣民ノ自由ノ權利ヲ蹂躪セラル、コトナキヲ期スルナリ故ニ
 裁判ハ單ニ裁判官ノ法ノ解釋ニ關スル意見ヲ發表スルモノニアラス公正ナル國
 家ノ解釋ヲ權力ニ依リテスルモノナリ而シテ唯公正ナル法ノ解釋ヲ訓示スルニ
 止マラス自ラ權力ノ命令行爲タルコトヲ特色トス裁判官ノ法ノ適用ハ學術上ノ

意見ノ發表ニアラス公正ノ解釋ナリ管ニ公正ノ解釋タルノミナラス權力ニ依リテ法ヲ適用シ實行スルモノナリ裁判ハ國權ノ命令ニシテ自ラ法力ヲ有シ權力ノ行爲トシテ當事者ヲ羈束スルノ力ヲ有シ當事者ハ之ニ對抗スルヲ得ス判決ノ命スル所ニ服從セサルヘカラス判決ハ自ラ執行ノ力ヲ有ス是裁判ノ性質ナリ其命令ノ行爲タルニ於テハ立法行政ノ行爲ト相異ナル所ナシ裁判ノ特色ハ法ヲ適用スル判決タルコトニ在リ是故ニ立法權ト異ナリテ抽象的一般的假定的ニ之ヲ定ムルニアラスシテ特定ノ具體的ノ場合ニ對シテ限定的ニ之ヲ定ムルモノナリ特定ノ場合ニ對スルハ行政行爲ト同一ナリ併シナカラ法ノ適用タルニ於テ異ナル裁判ハ法ヲ適用スルノミ論理ニ依リテ抽象的ノ法ヲ具體的ノ場合ニ適用スルナリ此具體的ノ法ハ同一ノ場合ニ對シテハ二様アルコトヲ得ス裁判ハ自由裁量ノ餘地ナク便宜酌量スルヲ得ス法ノ適用カ手段タルト共ニ目的ニシテ國權ハ之ニ依リテ何等ノ特別ノ目的ヲ達セントスルモノニアラス

行政

第八章 行政

立法權ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ之ヲ行フ司法權ハ裁判所ニ依リ之ヲ行フモノナ

リ憲法ハ其行ハル、形式如何ヲ定ム併シナカラ國權ノ働ハ之ノミヲ以テ盡キタルモノニアラス國家ハ法規ヲ制定シ之ヲ適用スルノミヲ以テ其目的ヲ悉ク達スルモノニアラス此外ニ國家ノ目的ヲ達スルカ爲ニ方法ニ於テ事項ニ於テ極メテ範圍ノ廣キ種類ノ多キ無限ノ作用ナカルヘカラス是等ノ極メテ廣キ統治權ノ働ニ付テハ我憲法ハ別段ノ行使ノ形式ヲ定メス唯其中ニテ所謂憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ天皇親裁シテ之ヲ定ムルコトヲ必要トセルモ其外ニハ統治權ハ如何ナルコトヲ爲シ得ルカ如何ナル形式ニ依リ之ヲ爲スカヲ定ムル所ナシ之ヲ憲法上ノ大權事項ト共ニ大權ト云ヒ行使ノ形式定マラサルカ故ニ天皇自ラ之ヲ行ヒ天皇ハ亦如何ナル方法ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得ルヤハ前述シタリ此大權ニ屬スル事項ハ天皇ハ或ハ親ラ之ヲ行ヒ或ハ官制ヲ定メ之ニ依リテ行政機關ヲ設ケ其職務權限トシテ之ヲ行ハシメ又ハ自治ノ公共團體ヲシテ之ヲ行ハシムルナリ之ヲ概括シテ行政ト云フ大權ト行政トヲ區別スルハ我憲法ノ特色ニシテ歐洲諸國ノ憲法ニ於テハ立法司法行政ノ三權カ相對立スルナリ我憲法ニ於テハ立法司法ニ對シ天皇ノ大權アリ行政ハ其下ニ在リテ行政機關ニ依リテ行ハル、ナリ歐洲

諸國ニ於テハ或ハ君主ヲ以テ政府ノ長官、行政ノ首長トシ國會及裁判所ニ對立セシムルナリ我憲法ハ之ト組織ノ異ナルコトヲ注意セサルヘカラス併シナカラ行
政ト大權トハ其事柄ノ性質ニ區別アルニアラス故ニ皆之ヲ行政ト云フモ差支ナ
ケレトモ我憲法ハ行政ヲ見スシテ大權ヲ見タルナリ行政ハ大權ノ下ニ行ハル、
モノタルコトヲ知ラサルヘカラス

行政ノ目的ハ國家ノ一般ノ目的ナリ國家一般ノ目的ヲ遂行スルカ爲ニスル國家
ノ行爲ヲ行政ト云フ其作用ノ種類ハ列擧スルヲ得ス道路ヲ修繕スルモ行政ナリ
勤儉貯蓄ヲ獎勵スルモ行政ナリ左側ヲ通行スルヲ命スルモ行政ナリ官廳ノ筆墨
ヲ買入ル、モ行政ナリ其目的ヲ達スルカ爲ニ爲シタル手段ハ皆行政ナリ併シナ
カラ行政ハ立法ト異ル法規ヲ制定スル作用ニアラス特定ノ具體的ノ場合ニ存ス
ルナリ又司法ト異ナル法規ニ依リ拘束セラレタル論理ニ依リテ法ヲ適用スルコ
トヲ目的トスル法ノ適用ノ行爲ニアラス意思ニ依リテ欲スル一定ノ目的結果ヲ
生セシカ爲ニスル自由ナル行爲ナリ行政ノ法規カ詳密ナレハ行政ノ働モ亦法ノ
適用ニ過キサル場合モアリ此場合ト雖モ法ノ適用ヲ以テ夫レ自身目的トスルニ

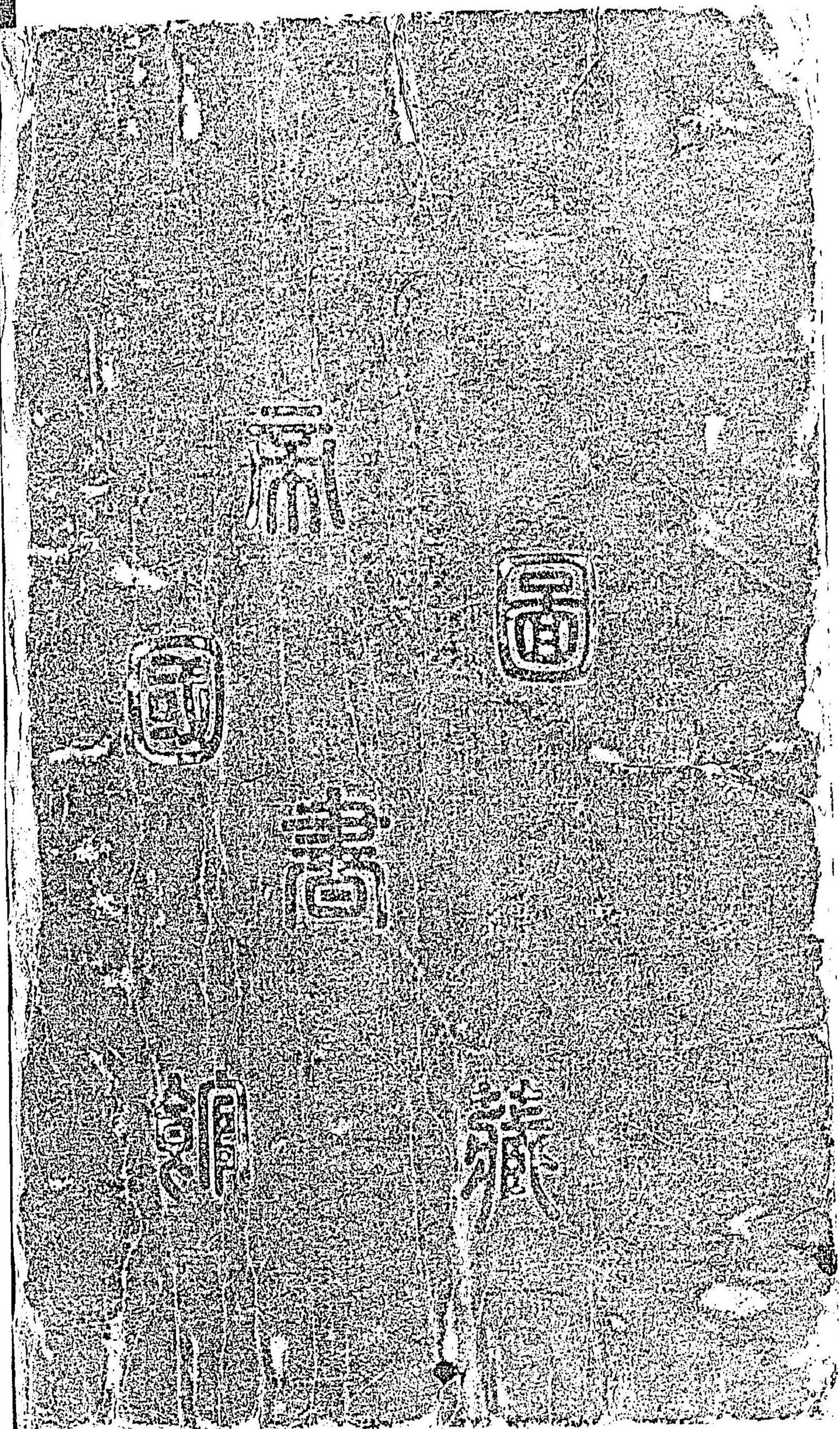
アラス例ハ租税法ヲ適用シテ租税ヲ徵收スルハ唯法ノ適用ヲ目的トスルニアラ
スシテ租税ヲ得ンコトヲ目的トスルモノナリ是レ行政ノ司法ト異ル所以ナリ
行政ノ目的ノ爲ニスル行爲ハ種々アリテ一々擧クルコトヲ得サレトモ道路ヲ
繕シ勤儉貯蓄ノ尙フヘキコトヲ訓諭スル如キハ事實上ノ行爲ニシテ法律上ノ
爲ニアラス又筆墨ヲ買入レ建物ノ建築ヲ爲サシムル如キハ私法上ノ行爲ナリ行
政ノ作用ト云ヘハ是等ノ行爲ハ皆包含スト雖モ統治權ノ働タル行爲ハ命令ノ働
ナラサルヘカラス權力統治ノ關係ニ於テ働カサルヘカラス公法上ノ關係ナラサ
ルヘカラス是故ニ行政行爲ト云ヘハ行政ノ目的ノ爲ニスル立法ニアラス又司法
ニモアラサル行爲ヲ指スモノトセラル
前述ノ如ク形式的ノ立法ハ法規ヲ制定スル働ノ命令ニアラス憲法上司法權モ亦
民事刑事ノ裁判ニ限ルナリ其外ニ國家ハ廣キ立法ノ働ヲ爲シ行政裁判ノ如キ司
法ノ働モアリ故ニ形式的ノ働ハ實質ニ於テ立法タリ司法タル作用ヲモ之ヲ包含
スルナリ

行政ノ作用其モノニ對スル研究ハ憲法ノ範圍ニ屬セス行政法ナリ諸君ハ行政法

I
160

憲法(完結)

ニ於テ行政作用ハ如何ナル機關ニ依リテ行ハル、カ其機關相互ノ關係、行政行爲ノ形式、行政法上ノ人格、權利及行政法上ノ權利保護ノ手段方法、各種ノ目的ノ爲ニスル行政ノ作用ヲ研究セラル、ナリ





031467-000-1

工-16口

憲法

上杉 慎吉/述

M45?

BBE-0066



I
16

麻

圖

國

書

御

藏

Handwritten text in a vertical column on the left side of the cover.